

豊田市美術館
年報

ANNUAL REPORT
Toyota Municipal Museum of Art

NO. **26**

凡例

◎常設展示、常設特別展示、企画展示の出品作品および購入作品、
寄贈作品のデータは、原則として以下のとおりに記した。

作家名

作品名

制作年

技法、素材

寸法（縦×横×奥行、高さはH、直径はΦで表示）

所蔵者

不明な項目は記載していない。また、常設展示、常設特別展示と
購入作品、寄贈作品における所蔵者「豊田市美術館」の記載も省略した。

目次

	常設展		作品管理
004	第1期常設展示	045	収集作品一覧
006	第2期常設展示	047	作品貸出実績
008	第3期常設展示		
010	第4期常設展示		教育・普及
011	高橋節郎館 第1期常設展示	049	講演会、シンポジウム、アウトリーチ活動
013	高橋節郎館 第2期常設展示		コンサート、映画上映会、パフォーマンス等、写生大会、
015	高橋節郎館 第3期常設展示		庭園活用事業
017	高橋節郎館 第4期常設展示		作品ガイドボランティア
	常設特別展		出版・ビデオ・音声ガイド制作
019	ひとつの複数の世界／寺内曜子 バンゲア		小・中学校美術館学習
023	絶対現在		研修会
027	サンセット／サンライズ		博物館実習
	企画展		撮影協力、その他
032	ボイス＋パレルモ	052	調査研究
039	モンドリアン展 純粋な絵画をもとめて		
043	ホー・ツーニェン 百鬼夜行	053	利用実績
			観覧者数
			ギャラリー利用状況
			ライブラリー利用状況
			レストラン等付属施設利用状況
			組織
		055	組織図
		056	美術館運営協議会
			美術品収集委員会
			作品ガイドボランティア
			関係法規
		057	豊田市美術館条例
		058	豊田市美術館管理規則
		061	沿革

第1期常設展示

2021年4月3日 [土]ー 6月20日 [日]
69日間
展示室2-4

展示室2

01

イヴ・クライン
モノクローム IKB 65
1960年
顔料、合成樹脂、カンヴァス、合板
199.0×152.5cm

02

ギュンター・ユッカー
変動する白の場
1965年
釘、カンヴァス、木、アクリル
150.0×150.0cm

03

ビエロ・マンゾーニ
無色
1958/59年
カオリン、襷のあるカンヴァス
80.0×60.0cm

04

クリスト
梱包
1961年
布、ロープ、ボード
75.0×60.0×20.0cm

展示室3

05

イミ・クネーベル
蓄光サンドイッチ No.1
1992年
アクリル、合板
249.5×169.5×1.8cm

06

イミ・クネーベル
蓄光サンドイッチ No.2
1992年
アクリル、合板
249.5×169.5×1.8cm

07

イミ・クネーベル
蓄光サンドイッチ No.3
1992年
アクリル、合板
249.5×169.5×1.8cm

08

イミ・クネーベル
好い・子
1987年
亜鉛板、銅線
374.0×128.0×64.0cm

09

イミ・クネーベル
D I N規格 I B1-B4
1994年
アクリル、アルミニウムシート、合板
各34.0×25.3×8.0cm (4点組)

10

シャルロット・ボゼネンスケ
シリーズD 立方管
1967/2014年
ガルバリウム鋼板 (6パーツ)
サイズ可変

11

シャルロット・ボゼネンスケ
レリーフ・シリーズB
1967/2007-14年
RAL標準色塗料、アルミニウム、支持台
各100.0×50.0×14.0cm

12

ウルリヒ・リュックリーム
無題 (石柱)
1990年
ドロミテ産砂岩
180.0×60.0×60.0cm

13

ヴォルフガング・ライプ
ミルクストーン
1995-98年
大理石、牛乳
67.0×83.5×6.0cm

展示室4

14

A. R. ベンク
密林の理性あるもの
1966年
油彩、カンヴァス
147.0×197.0cm

15

ゲオルク・バゼリッツ
羊飼い
1964年
エッチング、ドライポイント、紙
24.5×19.8cm

16

ゲオルク・バゼリッツ
羊飼い
1966年 (1967年刷)
エッチング、ドライポイント、紙
31.5×23.9cm

17

ゲオルク・バゼリッツ

無題

1966年 (1983年刷)
エッチング、ドライポイント、紙
27.5×20.1cm

18

ゲオルク・バゼリッツ
狩人
1967年
エッチング、ドライポイント、紙
31.4×23.4cm

19

ゲオルク・バゼリッツ
パノノイア・マーチ
1967年 (1968年刷)
ドライポイント、紙
31.6×23.8cm

20

ゲオルク・バゼリッツ
羊
1964年
油彩、カンヴァス
162.3×130.4cm

21

松澤 有
宇宙バズル
2003年
フェルトペン、紙、写真
18.0×18.0cm

22

毛利 武士郎
Mr. 阿からのメッセージ 第3信
1996年
ステンレス
12.7×50.7×13.0cm

23

水谷 勇夫
神と獣 No.10
1965年
膠彩、紙、カンヴァス
116.5×91.3cm

24

三上 誠
作品
1965-68年頃
顔料、インク、紙
115.0×150.0cm

25

樫田 伸也
触風景
1975, 85年
油彩、カンヴァス
162.0×180.0cm

26

狗巻 賢二
作品 92-1
1992年
油彩、カンヴァス
56.5×41.5cm

27

狗巻 賢二
作品 92-3
1992年
油彩、カンヴァス
60.5×43.0cm

28

狗巻 賢二
作品 92-4
1992年
油彩、カンヴァス
60.5×43.0cm

29

狗巻 賢二
作品 92-5
1992年
油彩、カンヴァス
60.5×43.0cm

30

狗巻 賢二
作品 92-6
1992年
油彩、カンヴァス
60.5×43.0cm

31

狗巻 賢二
作品 92-7
1992年
油彩、カンヴァス
58.0×42.0cm

32

狗巻 賢二
作品 92-8
1992年
油彩、カンヴァス
58.0×42.0cm

33

狗巻 賢二
作品 92-9
1992年
油彩、カンヴァス
58.0×42.0cm

34

狗巻 賢二
作品 92-10
1992年
油彩、カンヴァス

58.0×42.0cm

35

狗巻 賢二
作品 92-15
1992年
油彩、カンヴァス
56.5×41.5cm

36

狗巻 賢二
作品 92-16
1992年
油彩、カンヴァス
56.5×41.5cm

37

榎倉 康二
無題
1970年（1995年再制作）
革、合板
220.0×217.0×4.0cm

38

原口 典之
Untitled CA-39a
1981年
ポリウレタン、アルミニウム・ハニカムボード
183.0×183.0×14.0cm

39

原口 典之
Untitled CD-40
1981年
ポリウレタン、アルミニウム・ハニカムボード
183.0×183.0×14.0cm

40

小清水 漸
a tetrahedron-鑄鉄
1974年
鉄
85.0×75.0×70.0cm

41

グスタフ・クリムト
オイゲニア・プリマフェージの肖像
1913/14年
油彩、カンヴァス
140.0×85.0cm

42

エゴン・シーレ
カール・グリュンヴァルトの肖像
1917年
油彩、カンヴァス
140.7×110.2cm

43

小堀 四郎
ドーミエ作《洗濯女》の模写
1929年
油彩、板
51.3×35.2cm

44

小堀 四郎
ドーミエ作《クリスパンとスキヤパン》の模写
1932年
油彩、カンヴァス
60.3×82.2cm

45

大澤 鉦一郎
その子像
1920年
油彩、カンヴァス
45.5×37.9cm

46

宮脇 晴
えりまきの少女
1920年
油彩、カンヴァス
45.6×33.2cm

47

宮脇 綾子
遊び
1987年
アブリケ
13.4×15.7cm

48

宮脇 綾子
玉ねぎ断面
1979年
アブリケ
33.7×25.6cm

49

宮脇 綾子
はりえ日記
1972-90年
水彩、アブリケ
30.2×21.0cm

第2期常設展示

2021年7月10日〔土〕－ 9月20日〔月・祝〕

64日間

展示室5-7

展示室5

01

牧野 義雄
倫敦空襲の図
1940年
油彩、カンヴァス
45.5×90.4cm

02

牧野 義雄
サーペンタイン橋から望むハイド・パーク
制作年不詳
油彩、カンヴァス
50.8×76.2cm

03

梅原 龍三郎
少女アニーン
1908年
油彩、カンヴァス
41.0×32.8cm

04

中村 彝
静物
1917年頃
油彩、カンヴァス
39.5×52.0cm

05

中村 彝
觸腹のある静物
1923年
油彩、カンヴァスボード
32.5×23.7cm

06

坂本 繁二郎
ポルテ・シャンチー
1922年
油彩、カンヴァス
31.9×40.9cm

07

前田 寛治
I子像
1928年
油彩、カンヴァス
90.6×72.8cm

08

国吉 康雄
花飾りをつけた女
1932年
油彩、カンヴァス
66.0×81.3cm

09

佐分 眞
婦人像

1927年
油彩、カルトン
60.5×50.0cm

10

松下 春雄
藤椅子にかける女
1931年頃
油彩、カンヴァス
100.0×65.0cm

11

熊谷 守一
高原の秋
1935年頃
油彩、板
37.9×45.5cm

12

横井 礼以
新緑の路
1927年
油彩、カンヴァス
90.9×65.2cm

13

鳥海 青児
瀬戸の山
1941年頃
油彩、カンヴァス
60.6×92.5cm

14

岸田 劉生
横臥裸婦
1913年
油彩、カンヴァス
45.5×53.0cm

15

岸田 劉生
自画像
1913年
油彩、カンヴァス
45.6×38.0cm

16

安田 靱彦
風来山人
1930年
墨、膠彩、紙
78.0×118.0cm

17

速水 御舟
菊に猫
1922年
膠彩、絹布
130.6×50.1cm

18

小茂田 青樹
芍薬
1925年
膠彩、絹布
127.0×43.0cm

19

今村 紫紅
大井川
1913年
膠彩、絹布
136.0×56.0cm

20

横山 大観
達磨
1907年
膠彩、絹布
148.2×57.2cm

21

下村 観山
美人と舍利
1909年
膠彩、絹布
各126.0×50.7cm（双幅）

22

菱田 春草
鹿
1909年
膠彩、絹布
128.0×51.0cm

23

菱田 春草
春色
1905年
膠彩、絹布
70.9×49.4cm

展示室6

24

小堀 四郎
早春（柿生）
1941年頃
油彩、カンヴァス
60.7×72.7cm

25

小堀 四郎
鶴川風景（夏）
1944年
油彩、カンヴァス
73.0×53.5cm

26

小堀 四郎

鶴川風景（ひぐらし）

1944年
油彩、カンヴァス
72.5×50.3cm

27

小堀 四郎
高原の夕陽
1947年
油彩、カンヴァス
65.3×91.1cm

28

小堀 四郎
高原暮色（蓼科）
1953年
油彩、カンヴァス
41.2×53.1cm

29

小堀 四郎
花火
1955年
油彩、カンヴァス
80.5×60.9cm

30

小堀 四郎
赫光
1969年
油彩、カンヴァス
149.0×162.5cm

31

小堀 四郎
恐山の月
1975年
油彩、カンヴァス
72.7×91.0cm

32

小堀 四郎
十三湖の月
1978年
油彩、カンヴァス
112.4×162.0cm

33

小堀 四郎
二人で歩いた厳しい道
1987年
油彩、カンヴァス
161.8×149.0cm

展示室7

34

宮脇 綾子
ねこじゃらし
1964年

アブリケ
60.0×30.0cm

35
宮脇 綾
夏水仙
1964年
アブリケ
43.0×27.5cm

36
宮脇 綾子
たこ
1965年
アブリケ
55.5×30.5cm

37
宮脇 綾子
アネモネ
1969年
アブリケ
28.5×40.5cm

38
宮脇 綾子
うど
1970年
アブリケ
89.0×60.0cm

39
宮脇 綾子
紫花菜
1972年
アブリケ
113.0×187.0cm

40
宮脇 綾子
夫婦冬瓜
1975年
アブリケ
33.5×65.4cm

41
宮脇 綾子
ハンドバックで作った魚
1978年
アブリケ
55.0×36.5cm

42
宮脇 綾子
いちじく
1978年
アブリケ
42.0×32.0cm

43
宮脇 綾子

芽の出たさつまいも
1987年
アブリケ
35.0×48.0cm

44
宮脇 綾子
魚五匹
1987年
アブリケ
97.3×77.0cm

45
宮脇 綾子
パイナップル
制作年不詳
アブリケ
38.0×27.0cm

46
宮脇 晴
藪の道
1921年
油彩、カンヴァス
45.5×37.9cm

47
宮脇 晴
ボタン
1921年
油彩、カンヴァス
45.5×37.9cm

48
宮脇 晴
人形を持って立つ少女
1921年
油彩、カンヴァス
116.5×72.5cm

49
宮脇 晴
風景 大野川
1922年
油彩、カンヴァス
38.3×45.5cm

50
宮脇 晴
仲田風景
1922年頃
油彩、カンヴァス
60.7×68.3cm

第3期常設展示

2021年10月23日 [土]ー 2022年1月23日 [日]
74日間
展示室6、7

展示室6

01

グスタフ・クリムト
オイゲニア・ブリマフェージの肖像
1913/14年
油彩、カンヴァス
140.0×85.0cm

02

エゴン・シーレ
アルトゥール・レスラーの肖像
1914年 (1922年刷)
ドライポイント、紙
24.2×32.0cm

03

小堀 四郎
恐山の月
1971-75年頃
水彩、鉛筆、色鉛筆、インク、紙
15.0×17.3cm

04

小堀 四郎
イタリアの少年
1929年
油彩、カンヴァス
117.0×64.5cm

05

小堀 四郎
恐山の巫女
1967年
油彩、カンヴァス
60.3×75.8cm

06

井田 照一
Surface is the Between-Between Vertical
and Horizon-Series-In front of, In back
of-Portfolio-Eleven Great Masters-"dog"
1975-76年
リトグラフ、紙
89.5×63.5cm

07

井田 照一
Surface is the Between-Between Vertical
and Horizon-Series-In front of, In back
of-Portfolio-Eleven Great Masters-
"duchamp"
1975-76年
リトグラフ、紙
89.8×64.0cm

08

ジェームズ・アンソール
キリストのブリュッセル入城
1898年
エッチング、紙

24.8×35.6cm

09

ジェームズ・アンソール
愛の園
1888年
油彩、カンヴァス
96.0×112.0cm

10

浅野 弥衛
作品
1983年
鉛筆、紙
79.5×78.8cm

11

オスカー・ココシュカ
コロナ II
1918年
リトグラフ、チョーク、紙
60.6×47.0cm

12

オスカー・ココシュカ
絵筆を持つ自画像
1914年
油彩、カンヴァス
82.3×66.0cm

13

小堀 四郎
下北恐山
1958年頃
水彩、鉛筆、紙
22.6×27.9cm

14

北川 民次
花を抱く女
1976年
エッチング、紙
13.0×9.5cm

15

エゴン・シーレ
カール・グリュンヴァルトの肖像
1917年
油彩、カンヴァス
140.7×110.2cm

16

グスタフ・クリムト
若い女性の横顔
1895年頃
鉛筆、紙
39.0×30.5cm

展示室7

17

宮脇 綾子
鯉に椿の花をそえて
1973年
アブリケ
33.8×54.2cm

18

宮脇 綾子
新ごぼうと花
1980年
アブリケ
45.6×32.3cm

19

宮脇 綾子
椎茸
1975年
アブリケ
91.7×32.4cm

20

宮脇 綾子
ひもと遊ぶ
1986年
アブリケ
33.6×33.6cm

21

宮脇 綾子
かわいい毛虫
1986年
アブリケ
32.0×21.2cm

22

宮脇 晴
ドローイング591-A
1942年頃
水彩、紙
29.7×21.0cm

23

宮脇 晴
ドローイング1056
1940年
石版、紙
37.8×27.0cm

24

宮脇 晴
ドローイング3038-A
1942-45年
鉛筆、紙
21.3×29.5cm

25

宮脇 晴
自画像 (17才)

1919年
油彩、カンヴァス
45.5×33.3cm

26

宮脇 晴
風船売り
1938年
油彩、カンヴァス
97.0×145.5cm

27

宮脇 晴
算の側の自画像
1974年
油彩、カンヴァス
72.7×100.0cm

28

宮脇 晴
樹上姉弟図
1936年
油彩、カンヴァス
130.0×97.0cm

29

宮脇 綾子
赤い蟹
1981年
アブリケ
29.5×57.5cm

30

宮脇 綾子
干柿
1986年
アブリケ
43.2×38.5cm

31

宮脇 綾子
あんこう
1975年
アブリケ
44.6×29.8cm

32

宮脇 晴
自画像
1925年
油彩、カンヴァス
45.5×37.9cm

33

宮脇 晴
びいどろ吹き
1977年
油彩、カンヴァス
80.3×65.2cm

34

宮脇 晴

少女のいる風景 松の道

1921年

油彩、カンヴァス

37.9×45.5cm

35

宮脇 綾子

はりえ日記

1972-90年

水彩、アプリケ

30.2×21.0cm

第4期常設展示

2022年2月15日〔火〕ー 5月8日〔日〕
74日間
展示室6、7

展示室6

01

小堀 四郎
早春（柿生）
1941年頃
油彩、カンヴァス
60.7×72.7cm

02

小堀 四郎
星と雲
1955年
油彩、カンヴァス
45.4×53.2cm

03

小堀 四郎
高原の星夜
1961年
油彩、カンヴァス
91.2×117.4cm

04

小堀 四郎
二人で歩いた厳しい道
1987年
油彩、カンヴァス
161.8×149.0cm

05

小堀 四郎
恐山の月
1975年
油彩、カンヴァス
72.7×91.0cm

06

小堀 四郎
赫光
1969年
油彩、カンヴァス
149.0×162.5cm

07

小堀 四郎
不動明王
1962年
油彩、カンヴァス
166.2×115.5cm

08

小堀 四郎
大慈大悲
1956年
油彩、カンヴァス
116.7×91.3cm

09

小堀 四郎
空想の世界

1983年
水彩、ボールペン、厚紙
16.0×25.0cm

10

小堀 四郎
夕陽
1983年
パステル、紙
24.8×36.0cm

展示室7

11

宮脇 晴
薮の道
1921年
油彩、カンヴァス
45.5×37.9cm

12

宮脇 晴
風景 大野川
1922年
油彩、カンヴァス
38.3×45.5cm

13

宮脇 晴
鳥羽川の橋
1946年
油彩、カンヴァス
72.7×116.7cm

14

宮脇 晴
風景 海辺の農村
1933年
油彩、カンヴァス
50.0×100.0cm

15

宮脇 綾子
いい形・いい布
1986年
アブリケ
90.5×157.2cm

16

宮脇 綾子
ガラス瓶の中の椿
1979年
アブリケ
32.8×26.0cm

17

宮脇 綾子
からす瓜
1983年
アブリケ

43.5×33.0cm

18

宮脇 綾子
一卵性玉ねぎ
1985年
アブリケ
84.0×33.0cm

19

宮脇 綾子
花をさしたたこ
1985年
アブリケ
85.7×30.2cm

20

宮脇 綾子
鶴亀模様の鯛
1979年
アブリケ
41.8×82.5cm

21

宮脇 綾子
吊った干しえび
1983年
アブリケ
74.2×56.0cm

22

宮脇 綾子
れんこん
1982年
アブリケ
100.2×43.2cm

23

宮脇 綾子
皮のするめ
1972年
アブリケ
112.5×67.5cm

24

宮脇 綾子
吊った唐辛子
1963年
アブリケ
37.5×29.8cm

25

宮脇 綾子
はりえ日記
1972-90年
水彩、アブリケ
30.2×21.0cm

高橋節郎館 第1期常設展示	2021年4月3日〔土〕－6月20日〔日〕 69日間 高橋節郎館
----------------------	--

01 高橋 節郎 遙かなる郷愁 1956年 鎗金 157.5×109.0cm 寄託作品	モノタイプ (版画)、漆、紙 30.0×25.5cm	18 高橋 節郎 地久大恵 10 1993年 木芯乾漆 87.5×19.0×37.0cm	5.5×35.5×16.5cm
02 高橋 節郎 古墳月彩 1979年 鎗金、螺鈿 179.2×169.6cm	10 高橋 節郎 二人 1958年 モノタイプ (版画)、漆、紙 41.5×32.0cm	19 高橋 節郎 地久大恵 樹1 1994年 木芯乾漆 36.0cm、Φ17.0cm	27 高橋 節郎 半月型水盤 白 1950年代 陶胎漆器 6.0×37.0×20.0cm
03 高橋 節郎 星座創記 1975年 鎗金 175.9×173.0cm	11 高橋 節郎 大樹の詩 制作年不詳 モノタイプ (版画)、漆、紙 42.0×33.0cm	20 高橋 節郎 地久大恵 樹2 1994年 木芯乾漆 20.0cm、Φ6.5cm	28 高橋 節郎 変形菱形水盤 黒 1950年代 陶胎漆器 5.0×35.3×24.8cm
04 高橋 節郎 断層 1962年 朱叩き塗 188.1×182.8cm	12 高橋 節郎 海 (春) 1993年 鎗金、彩錆絵、螺鈿 3.0cm、Φ41.5cm (公財)高橋記念美術文化振興財団蔵	21 高橋 節郎 化石の森 1996年 木芯乾漆 60.0×47.0×18.0cm	29 高橋 節郎 変形菱形水盤 白 1950年代 陶胎漆器 5.0×36.0×25.0cm
05 高橋 節郎 悠久の記 1971年 鎗金、彩錆絵 182.0×182.4cm	13 高橋 節郎 化石 1963年 彩錆絵 180.0×150.0cm	22 高橋 節郎 化石の山 1997年 木芯乾漆 30.0×74.0×17.0cm	30 高橋 節郎 紅梅白梅漆手筈 1944年 蒔絵 13.5×38.0×29.0cm (公財)高橋記念美術文化振興財団蔵
06 高橋 節郎 古墳悠悠 1985年 鎗金、螺鈿、堆朱 176.3×173.0cm	14 高橋 節郎 洞 2 1963年 モノタイプ (版画)、漆、紙 55.7×62.6cm	23 高橋 節郎 森神 1995年 木芯乾漆 56.0×78.0×12.0cm	31 高橋 節郎 花器百態 5 1950年代 陶胎漆器 10.3×9.5×26.5cm
07 高橋 節郎 広間に置く棚「作品58」 1958年 堆朱絵、箔押 75.0×125.5×50.0cm	15 高橋 節郎 崖 B 1966年 モノタイプ (版画)、漆、紙 82.6×55.8cm	24 高橋 節郎 鎗金線紋四方盆 琴弦 1 1994年 鎗金 3.0×23.1×23.0cm	32 高橋 節郎 花器百態 6 1950年代 陶胎漆器 10.2×26.9×21.8cm
08 高橋 節郎 杉の木の寓話 1959年 鎗金、螺鈿 121.4×243.2cm	16 高橋 節郎 断層 A 1961年 モノタイプ (版画)、漆、紙 82.3×56.0cm	25 高橋 節郎 鎗金線紋四方盆 琴弦 2 1994年 鎗金 3.0×23.0×23.0cm	33 高橋 節郎 花器百態 7 1950年代 陶胎漆器 10.5×12.5×19.5cm
09 高橋 節郎 角力 1951年	17 高橋 節郎 化石群 1967年 鎗金、彩錆絵 92.1×116.6cm	26 高橋 節郎 半月型水盤 黒 1950年代 陶胎漆器	34 高橋 節郎 花の星座 1949年 彩研出蒔絵、アルミニウム合金板 41.9×110.4cm
			35 高橋 節郎

日日草紋衣裳箱
1938年
彩研出蒔絵
45.5×69.5×14.5cm
寄託作品

36
高橋 節郎
花晨
制作年不詳
鎗金
21.3×27.5cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

37
高橋 節郎
花のセレナード
制作年不詳
鎗金
27.5×22.3cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

38
高橋 節郎
標
1978年
鎗金、螺鈿
121.3×85.0cm

39
高橋 節郎
街
1959年頃
モノタイプ(版画)、漆、紙
43.8×63.0cm

40
高橋 節郎
ピアノ: 宇宙紀行
1995年
鎗金、螺鈿
104.5×150.5×188.0cm

41
高橋 節郎
ハーブ: 銀河饗奏
1999年
金箔、プラチナ箔みだれ押し
186.5×56.5×102.0cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

42
高橋 節郎
童子神
1995年
木芯乾漆
322.0×146.0cm、Φ60.0cm

高橋節郎館 第2期常設展示

2021年7月10日〔土〕－9月20日〔月・祝〕

64日間

高橋節郎館

01

高橋 節郎

踊り (タンゴ)

1966年

版画／漆、紙

56.1×82.6cm

(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

02

高橋 節郎

洞 1

1963年

モノタイプ (版画)、漆、紙

82.6×55.8cm

03

高橋 節郎

体

1966年

モノタイプ (版画)、漆、紙

62.3×56.7cm

04

高橋 節郎

杉の木の寓話

1959年

鎗金、螺鈿

121.4×243.2cm

05

高橋 節郎

化石の年輪

1965年

鎗金、彩鍍絵

182.8×182.6cm

06

高橋 節郎

蜃気楼

1960年

鎗金、彩鍍絵、螺鈿

197.5×182.0cm

07

高橋 節郎

星座回帰

1986年

鎗金、螺鈿、堆朱

176.7×173.7cm

08

高橋 節郎

古墳松韻

1982年

鎗金、螺鈿、堆朱

176.3×171.0cm

09

高橋 節郎

古墳借景

1978年

鎗金、螺鈿

176.0×170.0cm

10

高橋 節郎

星座物語

1994年

鎗金、箔押、螺鈿、堆朱

176.0×173.0cm

(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

11

高橋 節郎

風船

1959年

エッチング、紙

18.0×12.0cm

12

高橋 節郎

サーカスの女

1963年

エッチング、紙

18.0×14.0cm

13

高橋 節郎

獅子舞

1964年

エッチング、紙

15.3×15.0cm

14

高橋 節郎

踊り

1954年

鎗金、螺鈿、アルミニウム合金板

121.5×84.8cm

15

高橋 節郎

踊り A

1954年

鎗金

19.0×19.0cm

(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

16

高橋 節郎

踊り B

1954年

鎗金

19.0×19.0cm

(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

17

高橋 節郎

武者 A ～モノタイプ

1961年

モノタイプ (版画)、漆、紙

44.3×63.2cm

18

高橋 節郎

古都所見 秋篠寺

1982年以前

墨、水彩、紙

45.6×29.8cm

19

高橋 節郎

古都の民家

1982年以前

墨、水彩、紙

44.0×28.5cm

20

高橋 節郎

古都所見 聖林寺

1982年

墨、紙

30.4×45.7cm

(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

21

高橋 節郎

龍雲

制作年不詳

墨、紙

93.2×184.0cm

22

高橋 節郎

邑里

制作年不詳

墨、水彩、紙

61.6×92.9cm

23

高橋 節郎

爽風高原

制作年不詳

墨、水彩、紙

58.0×90.0cm

24

高橋 節郎

川辺風景

制作年不詳

墨、紙

35.5×44.9cm

25

高橋 節郎

下町風景 深川

1954年頃

墨、水彩、紙

128.0×64.5cm

26

高橋 節郎

乾漆壺 11

1989年

乾漆

50.8cm

(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

27

高橋 節郎

雲白山青

1995年

書／墨、水彩、紙

108.7×32.8cm

28

高橋 節郎

日月の小宮 日

制作年不詳

金地

4.8×7.0×10.9cm

29

高橋 節郎

日月の小宮 月

制作年不詳

金地

4.7×6.1×12.3cm

30

高橋 節郎

蒔絵棗 新月

1982年

蒔絵

6.7cm、Φ6.0cm

31

高橋 節郎

蒔絵香合 靈山

1982年

蒔絵

2.0cm、Φ7.2cm

32

高橋 節郎

円の中の杉 (杉風)

1987年

蒔絵、螺鈿

1.4cm、Φ41.2cm

(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

33

高橋 節郎

円の中の松 (寿松)

1987年

蒔絵、螺鈿

1.4cm、Φ41.2cm

(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

34

高橋 節郎

円の中の山 (月彩)

1987年

蒔絵、螺鈿

1.3cm、Φ41.2cm

(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

35
高橋 節郎
赤い化石
1997年
木芯乾漆
51.0×24.5×15.3cm

36
高橋 節郎
深海 A
制作年不詳
エッチング、紙
12.0×12.0cm

37
高橋 節郎
深海 B
制作年不詳
エッチング、紙
12.0×12.0cm

38
高橋 節郎
化石深海 B
1964年
モノタイプ (版画)、漆、紙
59.5×95.0cm

39
高橋 節郎
化石深海 A
1964年
モノタイプ (版画)、漆、紙
63.4×95.3cm

40
高橋 節郎
化石群
1967年
鎗金、彩錆絵
92.1×116.6×0.4cm

41
高橋 節郎
海層
1970年
鎗金、彩錆絵
115.0×90.8cm

42
高橋 節郎
日月の筥～月
制作年不詳
呂色塗、蒔絵
14.0×50.5×25.0cm

43
高橋 節郎
日月の筥～日

制作年不詳
呂色塗、蒔絵
13.5×44.5×25.5cm

44
高橋 節郎
海 (夏)
1993年
鎗金、彩錆絵、螺鈿
3.0cm、Φ41.5cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

45
高橋 節郎
ハーブ: 銀河饗奏
1999年
金箔、プラチナ箔みだれ押し
186.5×56.5×102.0cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

46
高橋 節郎
ピアノ: 宇宙紀行
1995年
鎗金、螺鈿
104.5×150.5×188.0cm

47
高橋 節郎
童子神
1995年
木芯乾漆
322.0×146.0cm、Φ60.0cm

高橋節郎館 第3期常設展示	2021年10月23日 [土]－2022年1月23日 [日]
	74日間
	高橋節郎館

01 高橋 節郎 紋 1972年 鎗金、彩錆絵 121.0×90.8cm	25.0×36.7cm	山陵 1989年 墨、水彩、紙 61.3×93.6cm	27 高橋 節郎 雲（色紙） 1996年 書／墨、水彩、色紙 27.5×24.5cm
02 高橋 節郎 古墳映像 1976年 鎗金、螺鈿 175.5×173.2cm	10 高橋 節郎 天宙の記（下絵） 1971年頃 鉛筆、紙 182.0×182.8cm	19 高橋 節郎 暁彩 1992年 墨、水彩、紙 45.0×90.0cm （公財）高橋記念美術文化振興財団蔵	28 高橋 節郎 クラリネット：ペガ 2005年 ブラチナ箔みだれ押し 68.3cm、Φ7.5cm （公財）高橋記念美術文化振興財団蔵
03 高橋 節郎 悠久の記 1971年 鎗金、彩錆絵 182.0×182.4cm	11 高橋 節郎 蜃気楼「空中都市」（下図） 1961年頃 鉛筆、水彩、紙 35.6×27.3cm	20 高橋 節郎 層煙 1962年 モノタイプ（版画）、漆、紙 119.4×94.7cm	29 高橋 節郎 クラリネット：アルタイ 2005年 金箔、ブラチナ箔みだれ押し 68.2cm、Φ7.5cm （公財）高橋記念美術文化振興財団蔵
04 高橋 節郎 古墳月彩 1979年 鎗金、螺鈿 179.2×169.6cm	12 高橋 節郎 蜃気楼「空中都市」（下図） 1961年頃 鉛筆、水彩、紙 35.7×27.2cm	21 高橋 節郎 流雲 1962年 モノタイプ（版画）、漆、紙 119.3×95.0cm	30 高橋 節郎 クラリネットケース 2005年 ブラチナ箔みだれ押し 4.5×73.0×12.0cm （公財）高橋記念美術文化振興財団蔵
05 高橋 節郎 蜃気楼「空中都市」 1961年 朱叩き塗、鎗金 187.8×181.6cm	13 高橋 節郎 童子神 1995年 木芯乾漆 322.0×146.0cm、Φ60.0cm	22 高橋 節郎 花（色紙） 1996年 書／墨、水彩、色紙 27.5×24.5cm	31 高橋 節郎 クラリネットケース 2005年 金箔、ブラチナ箔みだれ押し 4.5×73.0×12.0cm （公財）高橋記念美術文化振興財団蔵
06 高橋 節郎 古墳借景 1978年 鎗金、螺鈿 176.0×170.0cm	14 高橋 節郎 地平線の見える静物 1965年 鎗金 37.0×44.0cm （公財）高橋記念美術文化振興財団蔵	23 高橋 節郎 岳（色紙） 1996年 書／墨、水彩、色紙 27.5×24.5cm	32 高橋 節郎 フルート：金河 2001年 金箔、ブラチナ箔みだれ押し 67.0cm、Φ2.5cm （公財）高橋記念美術文化振興財団蔵
07 高橋 節郎 天宙の記 1972年 鎗金 182.0×182.8cm	15 高橋 節郎 高原・秋 1994年 墨、水彩、紙 59.0×90.0cm	24 高橋 節郎 風（色紙） 1996年 書／墨、水彩、色紙 27.5×24.5cm	33 高橋 節郎 フルート：銀河 2001年 ブラチナ箔みだれ押し 67.0cm、Φ2.5cm （公財）高橋記念美術文化振興財団蔵
08 高橋 節郎 遠森の記 1974年 鎗金 175.8×163.4cm	16 高橋 節郎 北信濃 秋 2 制作年不詳 墨、水彩、紙 95.4×63.8cm	25 高橋 節郎 龍（色紙） 1996年 書／墨、水彩、色紙 27.5×24.5cm	34 高橋 節郎 フルートケース 2003年 ブラチナ箔みだれ押し、ナラ 5.0×39.5×9.1cm
09 高橋 節郎 遠森の記（下絵） 1974年頃 鉛筆、紙	17 高橋 節郎 白馬三山 制作年不詳 墨、水彩、紙 57.5×94.3cm	26 高橋 節郎 嶽（色紙） 1990年 書／墨、水彩、色紙 27.5×24.5cm	
	18 高橋 節郎		

(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

35

高橋 節郎
フルーツケース
2003年
金箔、プラチナ箔みだれ押し、ナラ
5.0×39.5×9.1cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

36

高橋 節郎
乾漆壺 21
1955年頃 (1989年 再制作)
乾漆
34.2cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

37

高橋 節郎
三角ユニット花器 I 黄
1950年代
木胎漆器
27.3×10.5×9.0cm

38

高橋 節郎
三角ユニット花器 I 赤 1
1950年代
木胎漆器
27.3×10.5×9.0cm

39

高橋 節郎
三角ユニット花器 I 白
1950年代
木胎漆器
27.3×10.5×9.0cm

40

高橋 節郎
三角ユニット花器 I 黒 1
1950年代
木胎漆器
27.3×10.5×9.0cm

41

高橋 節郎
青い絨毯
1955年
鎗金
72.8×60.7×0.4cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

42

高橋 節郎
赤い絨毯
1955年
鎗金
72.8×60.8×2.8cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

43

高橋 節郎
樹下小憩
1980年
鎗金、螺鈿
120.0×87.3cm

44

高橋 節郎
鏡 A
1955-64年
彩漆絵
Φ27.3cm

45

高橋 節郎
鏡 B
1955-64年
彩漆絵
Φ27.1cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

46

高橋 節郎
婦人像 A
1955-64年
彩漆絵
Φ27.3cm

47

高橋 節郎
酒場
1955-64年
彩漆絵
Φ27.2cm

48

高橋 節郎
街角
1955-64年
彩漆絵
Φ27.2cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

49

高橋 節郎
二等辺三角水盤 1
1945-54年
金胎漆器
4.0×25.0×30.0cm

50

高橋 節郎
二等辺三角水盤 2
1945-54年
金胎漆器
4.0×25.0×35.0cm

51

高橋 節郎
飾盆 葡萄

制作年不詳
漆絵
Φ27.8cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

52

高橋 節郎
飾盆 果物
1955-64年
漆絵
Φ27.4cm

53

高橋 節郎
ゴールデンデリシャス カーマインレッド 1
1953年
銅箔、化学塗料、鉄
2.8×13.9×11.6cm

54

高橋 節郎
ゴールデンデリシャス マルーン 1
1953年
銅箔、化学塗料、鉄
1.2×13.9×11.6cm

55

高橋 節郎
ゴールデンデリシャス アイボリーブラック
1953年
銅箔、化学塗料、鉄
1.3×14.2×11.8cm

56

高橋 節郎
ゴールデンデリシャス エメラルドグリーン
1953年
銅箔、化学塗料、鉄
1.3×14.1×11.8cm

57

高橋 節郎
エッグスタンド レッド
1953年
化学塗料、針金
14.5×6.2×5.8cm

58

高橋 節郎
エッグスタンド グレー
1953年
化学塗料、針金
14.2×8.6×6.1cm

59

高橋 節郎
エッグスタンド ブラウン
1953年
化学塗料、針金
14.0×6.0×5.0cm

60

高橋 節郎
都会の朝
制作年不詳
モノタイプ (版画)、漆、紙
41.0×33.0cm

61

高橋 節郎
ハーブ: 銀河饗奏
1999年
金箔、プラチナ箔みだれ押し
186.5×56.5×102.0cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

62

高橋 節郎
ピアノ: 宇宙紀行
1995年
鎗金、螺鈿
104.5×150.5×188.0cm

01 高橋 節郎 遠い記録 1973年 鎗金 120.9×98.0cm	木芯乾漆 37.5×9.5×24.0cm	星座創記 1975年 鎗金 175.9×173.0cm	27 高橋 節郎 昆蟲記 II 1989年 染付 1.3×27.0×35.0cm
02 高橋 節郎 万化 1991年 鎗金、螺鈿、堆朱 95.7×116.7cm (公財)高橋記念美術文化振興財団蔵	10 高橋 節郎 地久大恵 7 1993年 木芯乾漆 40.0×10.0×25.5cm	19 高橋 節郎 古墳映像 1976年 鎗金、螺鈿 175.5×173.2cm	28 高橋 節郎 昆蟲記 III 1989年 染付 1.1×28.2×32.2cm
03 高橋 節郎 古墳群映 1977年 鎗金、螺鈿 182.0×172.0cm	11 高橋 節郎 地久大恵 8 1993年 木芯乾漆 53.0×10.5×27.0cm	20 高橋 節郎 広間に置く棚「作品58」 1958年 堆朱絵、箔押 75.0×125.5×50.0cm	29 高橋 節郎 昆蟲記 IV 1989年 染付 1.4×25.7×32.8cm
04 高橋 節郎 断層 1962年 朱叩き塗 188.1×182.8cm	12 高橋 節郎 地久大恵 10 1993年 木芯乾漆 87.5×19.0×37.0cm	21 高橋 節郎 化石の年輪 1965年 鎗金、彩錆絵 182.8×182.6cm	30 高橋 節郎 昆蟲記 V 1989年 染付 1.5×27.1×35.0cm
05 高橋 節郎 地久大恵 1 1993年 木芯乾漆 50.0×9.0×24.0cm	13 高橋 節郎 地久大恵 11a 1993年 木芯乾漆 12.0×17.0×99.5cm	22 高橋 節郎 譚 A 制作年不詳 モノタイプ (版画)、漆、紙 81.0×54.0cm	31 高橋 節郎 昆蟲記 VI 1989年 染付 1.5×35.0×27.1cm
06 高橋 節郎 地久大恵 2 1993年 木芯乾漆 30.5×13.0×47.5cm	14 高橋 節郎 地久大恵 11b 1993年 木芯乾漆 11.5×17.0×87.0cm	23 高橋 節郎 譚 B 制作年不詳 モノタイプ (版画)、漆、紙 81.0×54.0cm	32 高橋 節郎 山脈 1989年 墨、水彩、紙 91.0×181.0cm
07 高橋 節郎 地久大恵 3 1993年 木芯乾漆 54.0×12.5×23.0cm	15 高橋 節郎 地久大恵 12 1993年 木芯乾漆 27.5×19.0×91.0cm	24 高橋 節郎 触 1975年 モノタイプ (版画)、漆、紙 55.8×82.6cm	33 高橋 節郎 化石の森 1996年 木芯乾漆 60.0×47.0×18.0cm
08 高橋 節郎 地久大恵 4 1993年 木芯乾漆 71.0×14.5×14.5cm	16 高橋 節郎 地久大恵 13 1993年 木芯乾漆 33.0×51.0×78.0cm	25 高橋 節郎 花天 1990年 鎗金、螺鈿、堆朱 90.7×116.6cm (公財)高橋記念美術文化振興財団蔵	34 高橋 節郎 森魂 1997年 木芯乾漆 37.0×97.0×20.0cm
09 高橋 節郎 地久大恵 6 1993年	17 高橋 節郎 地久大恵 15 1993年 木芯乾漆 24.5×8.0×24.5cm	26 高橋 節郎 昆蟲記 I 1989年 染付 1.5×27.0×34.8cm	35 高橋 節郎 阿蘇 制作年不詳 墨、水彩、紙
	18 高橋 節郎		

112.0×68.0cm

36
高橋 節郎
地久大恵 5
1993年
木芯乾漆
50.5×10.5×21.0cm

37
高橋 節郎
扇面 我眉山
制作年不詳
墨、水彩、紙
110.0×60.0cm

38
高橋 節郎
化石
1963年
彩錆絵
180.0×150.0cm

39
高橋 節郎
染付飾皿 杉山遙か
1989年
染付
6.7cm、Φ40.8cm

40
高橋 節郎
染付飾皿 並木
1989年
染付
6.4cm、Φ36.8cm

41
高橋 節郎
染付飾皿 松と波
1989年
染付
4.4cm、Φ31.2cm

42
高橋 節郎
染付飾皿 松林
1989年
染付
4.4cm、Φ30.8cm

43
高橋 節郎
紅梅白梅漆手筥
1944年
蒔絵
13.5×38.0×29.0cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

44
高橋 節郎

飾盆 櫻
1955-64年
漆絵
Φ27.4cm

45
高橋 節郎
飾盆 百合
1955-64年
漆絵
Φ27.4cm

46
高橋 節郎
飾盆 風信子
1955-64年
漆絵
Φ27.4cm

47
高橋 節郎
春色
1984年
墨、水彩、紙
47.2×63.4cm

48
高橋 節郎
春霞
1986年
墨、水彩、紙
95.0×62.0cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

49
高橋 節郎
高原春色
制作年不詳
水彩、墨、紙
61.9×93.7cm

50
高橋 節郎
花の星座
1949年
彩研出蒔絵、アルミニウム合金板
41.9×110.4cm

51
高橋 節郎
枕草子
2000年
書／墨、水彩、紙
33.8×104.0cm

52
高橋 節郎
花紅柳緑
制作年不詳
書／墨、紙
22.5×58.9cm

53
高橋 節郎
日日草紋衣裳箱
1938年
彩研出蒔絵
45.5×69.5×14.5cm
寄託作品

54
高橋 節郎
花花
1996年
水彩、墨、紙
60.5×46.5cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

55
高橋 節郎
童子神
1995年
木芯乾漆
322.0×146.0cm、Φ60.0cm

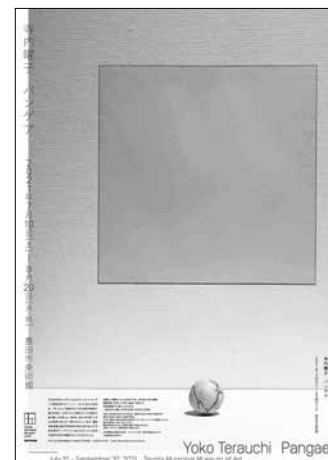
56
高橋 節郎
ピアノ：宇宙紀行
1995年
鎗金、螺鈿
104.5×150.5×188.0cm

ひとつの複数の世界／寺内曜子 パンゲア

2021年7月10日[土]ー9月20日[月・祝]
64日間
展示室1-4

「ひとつの複数の世界」ではモンドリアン展にあわせ、「世界をどのように見るか」という視点から作品を紹介した。モンドリアンや彼が参加したグループ、デ・ステイルでは、抽象に基づく造形制作を通して、絶対的な世界へ到達することを目指した。一つに見える世界のなかに複数の世界があり、そうした複数性によって、一つの世界が成立している。本展では、コレクションのほか、展示室2で特集展示を行った寺内曜子の作品も加えた。

「寺内曜子 パンゲア」では、寺内が、豊田市美術館の展示室自体を作品のうちに取り込む「パンゲア」（一つの大陸が分離移動して現在の四大陸になったとする大陸移動説において、この仮想の大陸が「パンゲア」（パン=全ての+ガイア=土地）と呼ばれた）のインスタレーションを行った。寺内は、私たちが見ているのは世界のほんの一部なのだという。本展で寺内は、私たちの認識の外部を想像させ、私たちの世界の見方を刷新した。



チラシ

観覧料: 一般300円 [250円] / 高大学生200円 [150円]

※[] 内は20名以上の団体料金 ※障がい者手帳をお持ちの方（介添者1名）、豊田市内在住又は在学の高校生及び豊田市内在住の75歳以上は無料 [要証明]

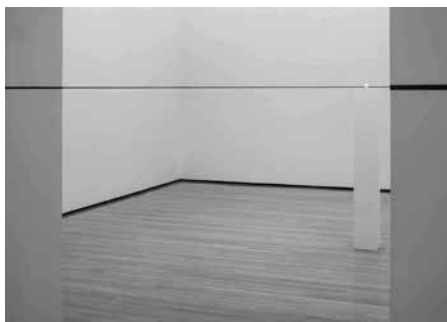
主催: 豊田市美術館

出品点数: 76点

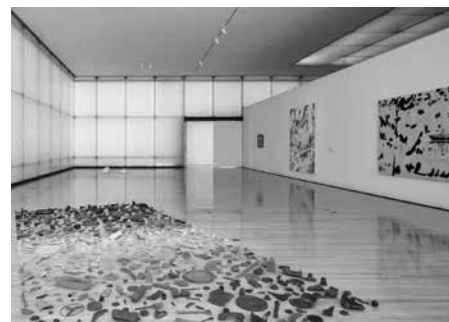
観覧者数: 35,223人



展示風景



展示風景



展示風景

関連事業:

■ 作家記念講演会

講師: 寺内曜子 (作家)

日時: 9月12日 [日] 午後2時ー3時30分

会場: 講堂、オンラインでのライブおよびアーカイブ配信

印刷物:

チラシ: B3判(ハツ折り)

作品ガイド: A5判変形

グラフィックデザイン: 川村格夫

作品展示: ヤマト運輸株式会社

会場設営: 株式会社カトウスタジオ

学芸担当: 千葉真智子

庶務担当: 小川澪一

展示室1

01

寺内 曜子
創世記
2019年
ケント紙、アクリル絵具、額
53.0×41.5×5.0cm
作家蔵

02

岡崎 乾二郎
かたがみのかたち 03
1979年
綿布、和紙、墨
87.5×68.0cm
寄託作品

03

岡崎 乾二郎
かたがみのかたち 04
1979年
綿布、和紙、墨
91.0×72.5cm
寄託作品

04

岡崎 乾二郎
おかちまち b-1
1981-2018年
アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン
27.5×25.0×11.5cm

05

岡崎 乾二郎
おかちまち b-2
1981-2018年
アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン
27.5×25.0×11.5cm

06

岡崎 乾二郎
おかちまち b-3
1981-2018年
アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン
27.5×25.0×11.5cm

07

岡崎 乾二郎
おかちまち b-4
1981-87年
アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン
27.5×25.0×11.5cm

08

岡崎 乾二郎
おかちまち b-5
1981-2018年
アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン
27.5×25.0×11.5cm

09

杉戸 洋
quad II
2009年
アクリル、顔料、カンヴァス
203.0×617.0cm
寄託作品

10

額田 宣彦
ジャングル・ジム (01-1)
2001年
油彩、MDFパネル
240.0×240.0cm

11

高松 次郎
板の単体 (赤)
1970年
ラッカー、木
177.0×177.0cm

12

高松 次郎
板の単体 (黒)
1970年
ラッカー、木
228.0×108.0cm

13

高松 次郎
板の単体 (青)
1970年
ラッカー、木
230.0×60.0cm

14

田中 敦子
Work 1963 B
1963年
合成樹脂エナメル塗料、カンヴァス
162.2×133.5cm

15

徳富 満
2D or not 2D
1993年
プラスチックシートに着色、ビニール、アルミ、
ゴム
サイズ可変

16

寺内 曜子
ひとつづきの面
2002年
紙、顔料
25.0×20.0×25.0cm
作家蔵

17

寺内 曜子

赤い正方形

1985年
鉛、顔料
36.0×29.0×23.0cm
作家蔵

18

寺内 曜子
ブルー・スクエア #3
1986年
鉛、顔料
53.0×31.5×16.5cm
作家蔵

展示室2

19

寺内 曜子
パンゲア
2021年
紙、顔料
作家蔵

展示室3

20

丸山 直文
breeze of river 2
2004年
アクリル、綿布
181.8×227.3cm

21

村瀬 恭子
White Coat
2009年
油彩、色鉛筆、綿布
240.0×190.0cm

22

杉戸 洋
untitled
2016年
油彩、カンヴァス
44.0×52.0cm

23

トニー・クラッグ
スペクトラム
1979年
プラスチック
250.0×500.0cm

24

ヴォルフガング・ライプ
ライスハウス
1996年
大理石、米
18.0×77.0×18.0cm

25

ヴォルフガング・ライプ
ライスハウス
1996年
大理石、米
25.0×97.0×27.0cm

展示室4

26

ドナルド・ジャド
椅子
製作年: 1988年 (クーパー & カトウ)
マホガニー
76.0×38.0×38.2cm

27

ドナルド・ジャド
椅子
製作年: 1988年 (クーパー & カトウ)
マホガニー
76.0×38.0×38.2cm

28

ドナルド・ジャド
椅子
製作年: 1988年 (クーパー & カトウ)
マホガニー
76.0×38.0×38.2cm

29

ドナルド・ジャド
机と椅子
製作年: 1990年 (クーパー & カトウ)
マホガニー
机76.2×121.9×83.8cm、椅子76.2×38.1
×38.1cm (2脚)

30

ダニエル・ビュレン
そのとき、その場所のまさに真ん中で起こる |
フレームの中のフレームの中のフレーム #42
1988年
アセテートフィルム、ガラス、木
サイズ可変

31

高橋 節郎
四角ユニット花器 黄
1938年
木胎漆器
6.3×10.5×10.5cm

32

高橋 節郎
東京美術学校課題演習 1
1933年
水彩、鉛筆、紙
38.1×58.2cm

33
高橋 節郎
東京美術学校課題演習 2
1933年
水彩、鉛筆、紙
38.1×58.2cm

34
高橋 節郎
東京美術学校課題演習 3
1933年
水彩、鉛筆、紙
38.0×59.0cm

35
高橋 節郎
東京美術学校課題演習 6
1934-37年
水彩、鉛筆、紙
47.0×63.7cm

36
高橋 節郎
四角ユニット花器 白
1938年
木胎漆器
6.3×10.5×10.5cm

37
高橋 節郎
四角ユニット花器 赤
1938年
木胎漆器
6.4×10.6×10.6cm

38
ジャン・アルプ
ひと、ひげ、へそ
1928-29年
木に着色
79.9×79.3×9.0cm

39
ジャン・アルプ
灰色の上の黒い形態の星座
1937年
木に着色
80.1×61.1×3.7cm

40
マルセル・ブロイヤー
クラブチェア B3 (ヴァシリーチェア)
デザイン: 1925年、製作年: 不詳 (スタンダー
ド = メーベル社)
ニッケルメッキのスティールチューブ、
カンヴァス
72.4×82.0×72.4cm

41
コンスタンティン・ブランクーシ
雄鶏

1924年 (1972年鑄造)
ブロンズ
92.4×10.5×45.0cm

42
コンスタンティン・ブランクーシ
若い男のトルソ II
1924年 (1973年鑄造)
ブロンズ
41.7×27.6×13.9cm

43
オスカー・ココシュカ
眠る女
1908年 (1917年 Kult・ヴォルフ版)
リトグラフ、紙
24.1×29.4cm

44
オスカー・ココシュカ
帆船
1908年 (1917年 Kult・ヴォルフ版)
リトグラフ、紙
24.1×29.4cm

45
オスカー・ココシュカ
船乗りが呼んでいる
1908年 (1917年 Kult・ヴォルフ版)
リトグラフ、紙
24.1×29.4cm

46
オスカー・ココシュカ
遠い島
1908年 (1917年 Kult・ヴォルフ版)
リトグラフ、紙
24.1×29.4cm

47
オスカー・ココシュカ
語らう男女
1908年 (1917年 Kult・ヴォルフ版)
リトグラフ、紙
24.1×29.4cm

48
オスカー・ココシュカ
眠る人びと
1908年 (1917年 Kult・ヴォルフ版)
リトグラフ、紙
24.1×29.4cm

49
オスカー・ココシュカ
目覚める人びと
1908年 (1917年 Kult・ヴォルフ版)
リトグラフ、紙
24.1×29.4cm

50
オスカー・ココシュカ
少女リーと僕
1908年 (1917年 Kult・ヴォルフ版)
リトグラフ、紙
24.1×29.4cm

51
エゴン・シーレ
第49回分離派展のポスター
1918年
リトグラフ、紙
67.8×53.1cm

52
オットー・ヴァーグナー
郵便貯金局内証券取引所のアームチェア
製作年: 1912-13年頃 (ゲブリュダー・トーネッ
ト社)
ブナ、ビロード
79.0×58.5×51.5cm

53
ヨーゼフ・ホフマン
フラットウェア・サービス
製作年: 1904年 (ウィーン工房)
銀
デザート・ナイフ (2本) 17.9×1.5cm、エスカ
ルゴ・フォーク 19.2×1.7cm、テーブル・ナイフ
21.5×1.7cm、テーブル・フォーク 21.5×2.0
cm、スプーン・レードル 21.5×5.9cm、デザート・
フォーク 17.9×1.6cm、コーヒー・スプーン 14.0
×3.0cm、ティースプーン 12.8×3.0cm

54
ヨーゼフ・ホフマン
エッグ・カップとスモール・スプーン
製作年: 1903-04年 (ウィーン工房)
銀
エッグカップ 5.2cm、Φ 4.7cm、スモールス
プーン 14.0×2.2cm

55
ウィーン工房
ハンドバッグのデザイン
制作年不詳
鉛筆、色鉛筆、紙
18.2×24.0cm

56
ウィーン工房
ハンドバッグのデザイン
制作年不詳
鉛筆、色鉛筆、紙
21.2×27.0cm

57
ウィーン工房
ハンドバッグのデザイン
制作年不詳
鉛筆、色鉛筆、紙

21.3×27.3cm

58
アントン・シュロール
ディ・フレッヒェ
1903-04年 (アントン・シュロール出版社)
リトグラフ、紙
32.5×20.5cm

59
グスタフ・クリムト
オイゲニア・プリマフェージの肖像
1913/14年
油彩、カンヴァス
140.0×85.0cm

60
フランク・ロイド・ライト
アヴェリー・クーンレイ・プレイハウスの窓ガラ
ス
1912年頃
ガラス、鉛、木
61.0×97.5cm

61
フランク・ロイド・ライト
アヴェリー・クーンレイ邸の椅子
デザイン: 制作年不詳 (フランク・ロイド・ライ
ト、ジョージ・M・ニーデッケン (共同制作))、
製造: 1908年頃 (ニーデッケン・ウォルブリッ
ジ社)
カシ
100.2×37.5×46.8cm

62
フランク・ロイド・ライト
第56葉 アヴェリー・クーンレイ邸、リヴィン
グルーム
出版: 1910年 (エルンスト・ヴァスマート出版
社)
リトグラフ、紙
45.0×63.5cm

63
ペーター・ベーレンス
接吻
1898年
印刷 (オリジナルは木版)
19.0×15.2cm

64
ペーター・ベーレンス
グラス
デザイン年: 不詳、製作年: 1900-01年 (ライニ
クシェガラス工場株式会社)
ガラス
13.5cm、Φ 7.6cm

65
ペーター・ベーレンス
ワイングラス

デザイン年: 不詳、製作年: 1903年(テレジエン
タール クリスタルガラス製造所(推定))
ガラス
20.5cm、Φ6.8cm

66

ペーター・ペーレンス
グラス
デザイン年: 不詳、製作年: 1902年(クリスタ
ルガラス製造所ベネディクト・フォン・ポッシン
ガー)
ガラス
13.3cm、Φ7.1cm

67

ペーター・ペーレンス
花瓶
デザイン年: 不詳、製作年: 1904年(ストー
ンウェア製造所メルケルパツハ&ウィック)
陶器
21.0cm、Φ19.8cm

68

ペーター・ペーレンス
花瓶
制作年不詳
陶器
8.5×18.8cm

69

ペーター・ペーレンス
スプーンとナイフ
デザイン年: 不詳、製作年: 1902年(ザクセン
金属製品製造所アウグスト・ヴェルナー父子商
会株式会社)
ホワイトメタル
スプーン21.5×5.0cm、スプーン20.0×4.9cm、
ナイフ25.5×2.0cm

70

ペーター・ペーレンス
椅子
デザイン年: 不詳、製作年: 1902年(アントン・
ブリュッゲル)
カシ、藤
99.6×44.5×45.8cm

71

チャールズ・レニー・マッキントッシュ
魚用フォーク
1901年
銀、ニッケル
18.0×2.2cm

72

チャールズ・レニー・マッキントッシュ
魚用ナイフ
1901年
銀、ニッケル
21.0×2.8cm

73

チャールズ・レニー・マッキントッシュ
置時計
1905年
コクタン、象牙
23.2×11.5×10.3cm

74

チャールズ・レニー・マッキントッシュ
フランシス・スミス
ウィンディヒルのホールのハイバック・チェア
1901年
カシ、蘭
133.7×73.2×54.5cm

75

チャールズ・レニー・マッキントッシュ
酒宴
1900年
鉛筆、水彩、体質顔料、トレーシングペーパー
32.9×69.3cm

76

チャールズ・レニー・マッキントッシュ
イングラム・ストリート・ティールームの壁布の
断片
1900年
ステンシル、麻布
102.0×46.0cm

絶対現在

2021年10月23日〔土〕— 2022年1月23日〔日〕

73日間

展示室8

河原温は、その日のうちに当日の日付を描く「デイト・ペインティング」のシリーズを制作した。時間と空間の切り離せない関係を説明する言葉に、「飛ぶ矢は飛ばない」というパラドクスがある。一瞬一瞬を捉えれば飛んでいる矢は止まって見えるが、その連続によって矢は飛んでいく。「日付絵画」は、この止まった矢のように、目には見えない流れる時の一瞬を現前させ、尺度としての時間と体験としての時間、個人の時間と歴史的な時間、一の時間と多の時間へと、観者の意識を促す。豊田市美術館が所蔵している一か月分の「デイト・ペインティング」のシリーズは、1971年に制作が始まり、2021年でちょうど50年が経過した。一か月分の「日付絵画」を中心として、この機に半世紀という時間の束に向き合う「今ここ」を、コレクションを通して捉えることを試みた。

現代芸術家にも影響を与えた禅の思想家・鈴木大拙は、「絶対の現在」について、「過去はすべてここにあつまり、未来はすべてここから出ていく。ただし、'ここ'、'実のところ' '今ここ' は空そのもの—内実において無限に豊かで、尽きぬ創造性を持つ '空' である」と述べている。時や場について、考えるのではなく直観することで、主体と客体、過去と未来を超えて創造的な '永遠の現在' に至るというのである。河原は、「日付絵画」の制作プロセスを、「精神労働」、「瞑想」と呼んでいた。時間に関わる作品を前にして静かに自己に向き合えば、瞑想にも似た自ら意識の働きに気づくはずである。



チラシ

観覧料：一般300円〔250円〕／高大学生200円〔150円〕

※〔 〕内は20名以上の団体料金 ※障がい者手帳をお持ちの方（介添者1名）、豊田市内在住又は在学の高校生及び豊田市内在住の75歳以上は無料〔要証明〕

主催：豊田市美術館

出品点数：71点

観覧者数：19,302人



展示風景



展示風景



展示風景

印刷物：

作品ガイド：A3判／2つ折り

グラフィックデザイン：林琢真

作品展示：ヤマト運輸株式会社

学芸担当：能勢陽子、千葉真智子

MAY 31, 1971 Todayシリーズ(1966-2013)
より
1971年
アクリル、カンヴァス、新聞紙、厚紙
25.5×33.0×4.0cm

32
河原 温
MAY 25, 1971 Todayシリーズ(1966-2013)
より
1971年
アクリル、カンヴァス、新聞紙、厚紙
25.5×33.0×4.0cm

33
河原 温
百万年 - 過去
1970-71年
ゼロックス・コピー、紙、ルーズリーフ・バイン
ダー
各30.5×22.8×7.6cm (10巻)

34
河原 温
百万年 - 未来
1980-95年
ゼロックス・コピー、紙、ルーズリーフ・バイン
ダー
各30.5×22.8×7.6cm (10巻)

35
杉本 博司
カントン パレス、オハイオ
1980年
ゼラチンシルバープリント
119.4×149.2cm
寄託作品

36
杉本 博司
The First Seven Days
1990-2003年
ゼラチンシルバープリント
41.9×54.4cm (7点組)
寄託作品

37
ボリス・ミハイロフ
イエスタデイズ・サンドイッチ12
1965-81年
写真
147.5×107.5cm

38
ボリス・ミハイロフ
イエスタデイズ・サンドイッチ 5
1965-81年
写真
107.5×147.5cm

39
ボリス・ミハイロフ
イエスタデイズ・サンドイッチ 7
1965-81年
写真
147.5×107.5cm

40
下道 基行
torii
2006-12年
タイプCプリント
106.0×158.0cm

41
下道 基行
torii
2006-12年
タイプCプリント
106.0×158.0cm

42
下道 基行
torii
2006-12年
タイプCプリント
106.0×158.0cm

43
ジェームズ・リー・バイヤーズ
球形の本 (*Q Is Point*)
1990年
大理石
68.0×68.0×68.0cm

44
ローマン・オバルカ
オバルカ 1965/1-∞ ディ テイル 2601104-
2626001
1977年
アクリル、カンヴァス
196.5×136.0cm

45
ローマン・オバルカ
オバルカ 1965/1-∞ ディ テイル 3395602-
3411010
1981年
アクリル、カンヴァス
196.5×135.0×3.2cm

46
ローマン・オバルカ
オバルカ 1965/1-∞ ディ テイル 4968512-
4988005
1994年
アクリル、カンヴァス
196.5×135.5cm

47
ジュゼッペ・ペノーネ

解剖学 3
1993年
大理石、水、ポンプ
130.0×60.0×60.0cm、738.0kg

48
イヴ・クライン
モノクローム IKB 65
1960年
顔料、合成樹脂、カンヴァス、合板
199.0×152.5cm

49
ダニエル・スパーリ
レストラン・シティ・ギャラリー
1965年
ミクストメディア
135.0×135.0×34.0cm

50
高松 次郎
赤ん坊の影 No. 122
1965年
ラッカー、カンヴァス
182.0×227.0cm

51
ライアン・ガンダー
おかあさんに心配しないでといって (6)
2013年
大理石樹脂
84.0×88.0×142.5cm

52
ミケランジェロ・ピストレット
窺視者 (M・ピストレットとV・ピサーニ)
1962, 72年
アクリル、ステンレス、薄葉紙
120.0×230.0cm

53
ソフィ・カル
盲目の人々No. 2
1986年
写真、テキスト
テキスト40.0×80.0cm、写真41.0×31.5cm、
80.0×56.0cm (2枚)

54
ソフィ・カル
盲目の人々No. 17
1986年
写真、テキスト
テキスト40.0×80.0cm、写真41.0×31.5cm、
56.0×80.0cm

55
ルーチョ・フォンターナ
空間概念 N3
1959-60年
ブロンズ

63.5×63.5×64.5cm

56
李 禹煥
項 1
1973年
木版、紙
紙105.5×75.0cm

57
李 禹煥
項 2
1973年
木版、紙
105.5×74.3cm

58
李 禹煥
線より
1981年
膠彩、カンヴァス
194.0×259.0cm

59
李 禹煥
線より
1977年
油彩、岩絵具、カンヴァス
182.0×227.0cm

60
李 禹煥
点より
1980年
膠彩、カンヴァス
182.0×227.0cm

61
李 禹煥
風と共に
1991年
油彩、岩絵具、カンヴァス
260.0×780.0cm

62
アリギエロ・ボエッティ
ALIGHIERO BOETTI
1975年
インク、紙
70.0×100.0cm

63
徳富 満
My Attribute (MITSURU TOKUTOMI)
1996年
油彩、カンヴァス
40.0×45.0cm

64
徳富 満
My Attribute (MY BLUE)

1996年
油彩、カンヴァス
35.0×40.0cm

65
徳富 満
My Attribute (MY ORANGE)
1996年
油彩、カンヴァス
35.0×40.0cm

66
徳富 満
My Attribute (MY WHITE)
1996年
油彩、カンヴァス
35.0×40.0cm

67
徳富 満
My Attribute (MY VIOLET)
1996年
油彩、カンヴァス
35.0×40.0cm

68
徳富 満
My Attribute (MY RED)
1996年
油彩、カンヴァス
35.0×40.0cm

69
徳富 満
My Attribute (MY BLACK)
1996年
油彩、カンヴァス
35.0×40.0cm

70
徳富 満
My Attribute (MY YELLOW)
1996年
油彩、カンヴァス
35.0×40.0cm

71
徳富 満
My Attribute (MY GREEN)
1996年
油彩、カンヴァス
35.0×40.0cm

サンセット／サンライズ

2022年2月15日〔火〕ー 5月8日〔日〕

74日間

展示室1-4、8

「サンセット（日没、夕暮れ）」と「サンライズ（日の出、夜明け）」それは、毎日、誰にでも、平等におとずれる美しい自然現象で、生きとし生けるものはすべて、この宇宙に流れる悠久のリズムに寄り添いながら生きている。「サンセット／サンライズ」が孕むイメージの豊かさは、眠りと目覚め、終わりと始まり、死と生、闇と光など、さまざまな象徴や解釈の可能性を差し出してくれるところにある。こうした、生きる人間の儚さと強さ、相反する価値観やそのあわいなどをも表す意味の広がり、まさしく芸術家たちの創造の問いかけと重なりあうものがある。また、日没と日の出の前後に現れる薄明の神秘的な時間帯は「マジックアワー」とも呼ばれていて、心が揺さぶられる魔術のような光景に立ち会う経験は、思いもかけない美術作品との出会いにどこか似ているともいえるだろう。

本展では、こうした「サンセット／サンライズ」から派生する多様なイメージ・想像力を手がかりに、豊田市美術館のコレクションを紹介する試みで、さらに招待作家として、愛知県にゆかりのある小林孝亘氏を迎え、静けさと強い存在感をもつその数々の作品を案内役に展覧会を構成した。

あわせて、小林氏が豊田市美術館のコレクションの中から選んだ作品と新作を展示した新作展「真昼」、また同氏の作品を豊田市内2カ所に展示した特別連携展示を行った。

観覧料: 一般700円 [600円] / 高大学生500円 [400円] / 中学生以下無料

＊[] 内は前売り及び20名以上の団体料金 ＊障がい者手帳をお持ちの方（介添者1名）、豊田市内在住又は在学の高校生及び豊田市内在住の75歳以上は無料〔要証明〕

主催: 豊田市美術館

協力: 西村画廊

出品点数: 104点

観覧者数: 18,235人



展示風景



展示風景



展示風景

関連展示:

小林孝亘 新作展「真昼」

会場: 豊田市美術館 (展示室5)

出品点数: 15点

連携展示:

小林孝亘 特別連携展示 (民芸館+民芸の森)

会場: 豊田市民芸館(第1民芸館)、豊田市民芸の森(田舎家「青佳居」)

会期: 2月8日〔火〕ー 5月29日〔日〕

出品点数: 4点

関連事業:

小林孝亘アーティストトーク

日時: 5月1日〔日〕 午後2時ー4時

会場: 講堂及びアーカイブ配信



ポスター

印刷物:

ポスター: B2判

チラシ: A4判

ギャラリーガイド: 21.0×21.0cm / 8ページ

冊子: 21.0×21.0cm / 16ページ

グラフィックデザイン: 藤本康一 (藤本組)

作品輸送・展示: ヤマト運輸株式会社

会場設営: 株式会社中央工芸

企画: 都筑正敏 (豊田市民芸館館長、元豊田市美術館学芸員)

学芸担当: 北谷正雄

庶務担当: 龍谷明日香、塚田恵理子

マジックアワー（展示室8）

01

小林 孝亘
Corpse candle
2015年
油彩、カンヴァス
91.0×91.0cm
作家蔵

02

小林 孝亘
Home
2022年
油彩、カンヴァス
100.0×80.0cm
作家蔵

03

杉本 博司
AEGEAN SEA, PILION
1990年
ゼラチンシルバープリント
119.4×149.2cm
寄託作品

04

浜田 知明
よみがえる亡霊
1956年
エッチング、アクアチント、紙
30.8×21.6cm

05

浜田 知明
噂
1961年
エッチング、アクアチント、紙
36.2×23.6cm

06

久門 剛史
crossfades #4 air
2020年
スクリーンプリント、アルシュ紙、インク、他
各76.0×56.0（3点）
作家蔵

07

丸山 直文
breeze 2
2004年
アクリル、綿布
227.0×145.5cm

08

丸山 直文
path 4
2005年
アクリル、綿布
185.0×185.0cm

09

村瀬 恭子
Swallows 2
2009年
油彩、色鉛筆、綿布
190.0×145.0cm

10

村瀬 恭子
Swallows 3
2009年
油彩、色鉛筆、綿布
190.0×150.0cm

11

山本 糾
暗い水ー白山 IV
1993年
ゼラチンシルバープリント
125.0×200.0cm

12

サルバドール・ダリ
皿のない二つの目玉焼きを背に乗せ、ポルト
ガルパンのかけらを犯そうとしている平凡な
フランスパン
1932年
油彩、板
16.0×22.0cm

13

ライアン・ガンダー
おかあさんに心配しないでとって（6）
2013年
大理石樹脂
84.0×88.0×142.5cm

14

イヴ・タンギー
失われた鐘
1929年
油彩、カンヴァス
64.2×53.2cm

眠り／目覚め（展示室8）

15

小林 孝亘
Portrait - resting cheeks in hands
2006年
油彩、カンヴァス
162.0×130.5cm
西村画廊蔵

16

イクムラレイコ
黒に浮かぶ
1998-99年
油彩、カンヴァス
120.5×120.5cm

17

イクムラレイコ
黒の中に横臥して
1998-99年
油彩、カンヴァス
80.0×150.0cm

18

イクムラレイコ
黒に舞う
1998-99年
油彩、カンヴァス
120.0×120.0×5.0cm

19

イクムラレイコ
黒の中
1999年
油彩、カンヴァス
110.5×150.5cm

20

イクムラレイコ
きつねヘッド
2010年
陶
18.0×27.0×11.0cm

21

奈良 美智
Untitled
1987年
アクリル、色鉛筆、紙
85.0×99.0cm
寄託作品

22

奈良 美智
Dream Time
1988年
アクリル、カンヴァス
116.7×90.9cm

23

奈良 美智
Romantic Catastrophe
1988年
アクリル、色鉛筆、カンヴァス
116.7×90.9cm
寄託作品

24

村瀬 恭子
Guru-guru
2002年
油彩、綿布
70.0×61.0cm

25

村瀬 恭子
Nap (L)

2003年
油彩、綿布
100.0×80.0cm

26

森 千裕
ヘッドルーム
2016年
水彩、墨、アクリル、鉛筆、紙、木製パネル
140.5×102.0cm
寄託作品

27

コンスタンティン・ブランクーシ
眠る幼児
1907年（1960/62年鑄造）
ブロンズ
10.6×16.3×14.2cm

28

コンスタンティン・ブランクーシ
雄鶏
1924年（1972年鑄造）
ブロンズ
92.4×10.5×45.0cm

29

マックス・クリンガー
ミューズの頭部
1890年以前
大理石に着色
17.5×34.5×23.2cm

死／生（展示室8）

30

小林 孝亘
Sleeping bag (blue)
2010年
油彩、カンヴァス
97.0×162.0cm
作家蔵

31

小林 孝亘
Pillow
2021年
油彩、カンヴァス
91.0×117.0cm
作家蔵

32

加藤 泉
無題
2006年
油彩、カンヴァス
194.0×162.0cm

33

川内 倫子

Untitled シリーズ「SEMEAR」より
2007年
タイプCプリント
103.0×103.0cm

34
川内 倫子
Untitled シリーズ「SEMEAR」より
2007年
タイプCプリント
103.0×103.0cm

35
河原 温
MAY 22, 1971 Todayシリーズ
(1966-2013) より
1971年
アクリル、カンヴァス、新聞紙、厚紙
25.5×33.0×4.0cm

36
河原 温
MAY 23, 1971 Todayシリーズ
(1966-2013) より
1971年
アクリル、カンヴァス、新聞紙、厚紙
25.5×33.0×4.0cm

37
河原 温
MAY 24, 1971 Todayシリーズ
(1966-2013) より
1971年
アクリル、カンヴァス、新聞紙、厚紙
25.5×33.0×4.0cm

38
河原 温
MAY 25, 1971 Todayシリーズ
(1966-2013) より
1971年
アクリル、カンヴァス、新聞紙、厚紙
25.5×33.0×4.0cm

39
河原 温
MAY 26, 1971 Todayシリーズ
(1966-2013) より
1971年
アクリル、カンヴァス、新聞紙、厚紙
25.5×33.0×4.0cm

40
河原 温
MAY 27, 1971 Todayシリーズ
(1966-2013) より
1971年
アクリル、カンヴァス、新聞紙、厚紙
25.5×33.0×4.0cm

41
河原 温
MAY 28, 1971 Todayシリーズ
(1966-2013) より
1971年
アクリル、カンヴァス、新聞紙、厚紙
25.5×33.0×4.0cm

42
北山 善夫
図 絵画 私の母は死んだ
1996-97年
インク、鳥の子紙
214.0×154.0cm

43
北山 善夫
図 絵画 場所の時
1997年
インク、鳥の子紙
214.0×154.0cm

44
福田 美蘭
涅槃図
2012年
アクリル、カンヴァス
182.0×227.2cm

45
福永 恵美
greenhide
2005-06年
脱色した菊の葉、蠟、油絵具、木材
サイズ可変
寄託作品

46
クリスチャン・ボルタンスキー
聖遺物箱（プーリム祭）
1990年
写真、ランプ、電気コード、ビスケッ缶、網
339.0×296.0×88.0cm

47
ローマン・オバルカ
オバルカ 1965/1-∞ デティール 2601104-
2626001
1977年
アクリル、カンヴァス
196.5×136.0cm

48
ローマン・オバルカ
オバルカ 1965/1-∞ デティール 2601104-
2626001
1977年
アクリル、カンヴァス
196.5×136.0cm

49
ローマン・オバルカ
オバルカ 1965/1-∞ デティール 4968512-
4988005
1994年
アクリル、カンヴァス
196.5×135.5cm

見えない／見える（展示室8）

50
小林 孝亘
Hard Shell
1992年
油彩、綿布張りパネル
75.0×190.0cm
作家蔵

51
ソフィ・カル
盲目の人ターNo.1
1986年
写真、テキスト
テキスト40.0×80.0cm、写真41.0×31.5cm、
56.0×80.0cm

52
ソフィ・カル
盲目の人ターNo.5
1986年
写真、テキスト
テキスト40.0×80.0cm、写真41.0×31.5cm、
40.0×56.0cm、78.0×56.0cm

53
ソフィ・カル
盲目の人ターNo.12
1986年
写真、テキスト
テキスト40.0×80.0cm、写真41.0×31.5cm、
80.0×56.0cm（2枚）

54
ソフィ・カル
盲目の人ターNo.13
1986年
写真、テキスト
テキスト40.0×80.0cm、写真41.0×31.5cm、
56.0×80.0cm

55
ソフィ・カル
盲目の人ターNo.15
1986年
写真、テキスト
テキスト40.0×80.0cm、写真41.0×31.5cm、
56.0×80.0cm

56
ソフィ・カル

盲目の人ターNo.18
1986年
写真、テキスト
テキスト40.0×80.0cm、写真41.0×31.5cm、
56.0×80.0cm

57
ソフィ・カル
盲目の人ターNo.20
1986年
写真、テキスト
テキスト40.0×80.0cm、写真41.0×31.5cm、
51.0×37.0cm（3枚）

黒／白（展示室1-3）

58
小林 孝亘
Water Fountain
1994年
油彩、カンヴァス
182.0×245.0cm
東京国立近代美術館蔵

59
狗巻 賢二
作品 92-1
1992年
油彩、カンヴァス
56.5×41.5cm

60
狗巻 賢二
作品 92-3
1992年
油彩、カンヴァス
60.5×43.0cm

61
狗巻 賢二
作品 92-4
1992年
油彩、カンヴァス
60.5×43.0cm

62
狗巻 賢二
作品 92-5
1992年
油彩、カンヴァス
60.5×43.0cm

63
狗巻 賢二
作品 92-6
1992年
油彩、カンヴァス
60.5×43.0cm

64
狗巻 賢二
作品 92-7
1992年
油彩、カンヴァス
58.0×42.0cm

65
狗巻 賢二
作品 92-8
1992年
油彩、カンヴァス
58.0×42.0cm

66
狗巻 賢二
作品 92-9
1992年
油彩、カンヴァス
58.0×42.0cm

67
狗巻 賢二
作品 92-10
1992年
油彩、カンヴァス
58.0×42.0cm

68
狗巻 賢二
作品 92-15
1992年
油彩、カンヴァス
56.5×41.5cm

69
狗巻 賢二
作品 92-16
1992年
油彩、カンヴァス
56.5×41.5cm

70
榎倉 康二
干渉
制作年不詳
油彩、綿布、板
72.5×53.0cm

71
草間 彌生
No. AB.
1959年
油彩、カンヴァス
210.3×414.4cm

72
高松 次郎
赤ん坊の影 No. 122
1965年
ラッカー、カンヴァス

182.0×227.0cm

73
田中 信行
肉の刃
1994年
乾漆／漆、麻布、発砲スチロール
87.5×19.0×10.0cm

74
村上 友晴
無題
1989-90年
油彩、カンヴァス
162.0×130.0cm

75
ヴォルフガング・ライブ
ライスハウス
1996年
大理石、米
18.0×77.0×18.0cm

76
ヴォルフガング・ライブ
ライスハウス
1996年
大理石、米
25.0×97.0×27.0cm

77
李 禹煥
風と共に
1987年
油彩、岩絵具、カンヴァス
227.0×182.0cm

78
ギュンター・ユッカー
変動する白の場
1965年
釘、カンヴァス、木、アクリル
150.0×150.0cm

79
森村 泰昌
なにものかへのレクイエム（創造の劇場／動くウォール）
2010年
HDTV（モノクロ）、サイレント
3分58秒
寄託作品

80
小林 孝亘
Classroom
1993年
リトグラフ、紙
45.0×32.0cm
作家蔵

81
小林 孝亘
Globejungle
1993年
リトグラフ、紙
45.0×32.0cm
作家蔵

82
小林 孝亘
Television
1993年
リトグラフ、紙
45.0×32.0cm
作家蔵

83
小林 孝亘
Dream
1993年
リトグラフ、紙
45.0×32.0cm
作家蔵

84
小林 孝亘
Shell
1993年
リトグラフ、紙
45.0×32.0cm
作家蔵

85
篠原 有司男
ボクシング・ペインティング
2007年
墨、カンヴァス
240.0×1800.0cm
寄託作品

86
横山 奈美
ラブと私のメモリーズ
2018-19年
鉛筆、紙、額
サイズ可変
寄託作品

終わり／始まり（展示室4）

87
小林 孝亘
Portrait - gray turtle-neck sweater
2007年
油彩、カンヴァス
90.9×72.7cm
杉山光男氏蔵

88
斎藤 義重

トロウウッド
1938年（1973年再制作）
アクリル、合板
120.0×100.0cm

89
斎藤 義重
作品 10
1961年
油彩、合板
181.4×121.2cm

90
白髪 一雄
無題
1957年
油彩、紙
182.0×242.0cm

91
田中 敦子
Work 1963 B
1963年
合成樹脂エナメル塗料、カンヴァス
162.2×133.5cm

92
元永 定正
作品 65-3
1965年
油彩、綿布
182.6×274.3cm

93
吉原 治良
無題
1961年
油彩、カンヴァス
162.0×131.0cm

94
アルマン
カシャ パンシャ、シッパイ
1962年
カメラ、木箱
60.0×100.0×22.0cm

95
フランシス・ペーコン
スフィンクス
1953年
油彩、カンヴァス
151.0×116.0cm

96
アルベルト・ブッリ
赤 プラスチック
1964年
燃烧、プラスチック、カンヴァス
60.0×50.0cm

97
クリスト
楯包
1961年
布、ロープ、ボード
75.0×60.0×20.0cm

98
ルーチョ・フォンターナ
空間概念
1962年
油彩、カンヴァス
129.0×97.0cm

99
ルーチョ・フォンターナ
空間概念
1962年
油彩、カンヴァス
100.0×81.3cm
寄託作品

100
イヴ・クライン
モノクローム IKB 65
1960年
顔料、合成樹脂、カンヴァス、合板
199.0×152.5cm

101
グスタフ・クリムト
オイゲニア・プリマフェージの肖像
1913/14年
油彩、カンヴァス
140.0×85.0cm

102
オスカー・ココシュカ
絵筆を持つ自画像
1914年
油彩、カンヴァス
82.3×66.0cm

103
ピエロ・マンゾーニ
無色
1958/59年
カオリン、襷のあるカンヴァス
80.0×60.0cm

104
エゴン・シーレ
カール・グリュンヴァルトの肖像
1917年
油彩、カンヴァス
140.7×110.2cm

小林孝亘新作展「真昼」(展示室5)

105
小林 孝亘
On the beach - table
2022年
油彩、カンヴァス
218.2×290.0cm
作家蔵

106
小林 孝亘
On the beach - vessel
2022年
油彩、カンヴァス
290.0×218.2cm
作家蔵

107
小林 孝亘
On the beach - chair
2022年
油彩、カンヴァス
194.0×259.0cm
作家蔵

108
小林 孝亘
Block
2022年
油彩、カンヴァス
259.0×259.0cm
作家蔵

109
小林 孝亘
Block - yellow ball
2022年
油彩、カンヴァス
116.7×91.0cm
作家蔵

110
小林 孝亘
Block - multicolored
2022年
油彩、カンヴァス
94.0×72.7cm
作家蔵

111
小林 孝亘
Cat
2022年
油彩、カンヴァス
65.2×53.0cm
作家蔵

112
小林 孝亘
Vessel - blue

2022年
油彩、カンヴァス
24.2×33.3cm
作家蔵

113
荒木 経惟
センチメンタルな旅
1971年
モノクロームプリント、パライタ紙
34.0×41.0cm

114
荒木 経惟
センチメンタルな旅
1971年
モノクロームプリント、パライタ紙
34.0×41.0cm

115
荒木 経惟
冬の旅
1989-90年
モノクロームプリント、パライタ紙
34.0×41.0cm

116
城戸 保
木と鉄
2014年
タイプCプリント
90.0×113.0cm

117
徳岡 神泉
柳
1953年
膠彩、紙
57.2×85.3cm

118
ベーター・ペーレンス
ゴブレットグラス・セット
デザイン年: 不詳、製作年: 1899年(クリスタルガラス製造所ベネディクト・フォン・ボッシンガー)
ガラス
15.5cm/Φ8.0cm、10.9cm/Φ6.1cm、20.7cm/
Φ7.9cm、13.3cm/Φ7.3cm、21.0cm/Φ9.6cm、
9.8cm/Φ5.2cm、13.6cm/Φ7.6cm、20.7cm/
Φ7.9cm、12.5cm/Φ7.1cm、17.9cm/Φ7.1cm

119
アリギエロ・ボエッティ
ONONIMO
1972-73年
インク、紙
各70.0×100.0cm (11枚組)

特別連携展示: 豊田市民芸館

120
小林 孝亘
Octopuspot Trap
2009年
油彩、カンヴァス
50.0×40.0cm
作家蔵

121
小林 孝亘
Inverted vessel
2015年
油彩、カンヴァス
100.3×80.2cm
作家蔵

122
小林 孝亘
Vessel - green
2022年
油彩、カンヴァス
24.2×33.3cm
作家蔵

特別連携展示: 豊田市民芸の森

123
小林 孝亘
Block
2022年
油彩、カンヴァス
91.0×91.0cm
作家蔵

ボイス+パレルモ

2021年4月3日[土]ー 6月20日[日]

69日間

展示室1、5-8

20世紀を代表するドイツ人作家ヨーゼフ・ボイス(1921-1986)と、その教え子のプリンキー・パレルモ(1943-1977)の二人展。社会彫刻としての芸術を雄弁に展開した前者と、寡黙な抽象絵画を制作した後者の対照的な作品を通して、すでに著名な作家であるボイスの再読解と、本邦ではほとんど知られていないパレルモの紹介をあわせて企画した。

展覧会は日本国内とドイツから借用した両者の1960-70年代の作品を中心に、個展形式でそれぞれを個別に紹介するセクションと、両者の作品を並置するセクションとを織り交ぜ、会場内でのキャプションの作家名を記号で表示するなど、両者の作品を比較しながら、その特徴を体感的に理解できる構成を目指した。

本展は埼玉県立近代美術館、国立国際美術館との共同企画であり、当館以降2館に巡回した。なお、当初は2020年秋から2021年春にかけて同3館での巡回企画として予定されていたものが、新型コロナウイルス感染症の拡大により会期を変更したことを付記しておく。

観覧料: 一般1,200円 [1,000円] / 高大学生700円 [500円] / 中学生以下無料

*[] 内は20名以上の団体料金。障がい者手帳をお持ちの方(介添者1名)、豊田市内在住又は在学の高校生及び豊田市内在住の75歳以上は無料[要証明]

主催: 豊田市美術館

共催: 中日新聞社

後援: ゲーテ・インスティテュート東京

協力: ルフトハンザ カーゴ AG

出品点数: 133点

観覧者数: 12,539人



ポスター



展示風景



展示風景



展示風景

関連事業:

■ オンラインレクチャー

「ヨーゼフ・ボイス生誕100年記念日 ヨーゼフ・ボイスのユーラシア」

講師: 渡辺真也(映画監督/インディペンデント・キュレーター)

日時: 5月12日[水]午後7時~9時

会場: オンラインでのライブ配信

■ オンラインレクチャー

「中世美術から見たヨーゼフ・ボイス」

講師: 木俣元一(美術史、名古屋大学大学院教授)

日時: 6月12日[土]午後7時~9時

会場: オンラインでのライブ配信

■ オンラインレクチャー

「プリンキー・パレルモについて」

講師: 林道郎(美術史、美術批評、上智大学国際教養学部教授)

日時: 6月13日[日]午後7時~9時

会場: オンラインでのライブ配信

■ オンラインレクチャー

「ヨーゼフ・ボイスの自己神話化ー芸術と政治の間で」

講師: 水野俊(美術史、慶應義塾大学大学院文学研究科美学美術史学専攻博士課程)

日時: 6月18日[金]午後7時~9時

会場: オンラインでのライブ配信

■ インタビュー

「画家が語る画家ーパレルモについて、ボイスについても少し」

講師: 額田宣彦(画家)

*書き起こしを美術館ウェブサイトにてPDFで公開

印刷物:

ポスター: B1判、B2判

チラシ: A4判

ギャラリーガイド: 変形/28ページ

作品リスト: 変形

カタログ: A4変形判/368ページ

レクチャー記録集: A4変形判/2分冊/各64ページ

グラフィックデザイン: 刈谷悠三+角田奈央 [neucitora]

作品保全修復: 森絵画保存修復工房

作品輸送・展示: ヤマト運輸株式会社

会場設営: 株式会社カトウスタジオ

学芸担当: 鈴木俊晴、千葉真智子、西崎紀衣

庶務担当: 小川晃一、塚田恵理子

プロフィール: ヨーゼフ・ボイスとプリンキー・パ
レルモ

01
ヨーゼフ・ボイス
プリンキーのために
1980年頃
写真（献辞と署名入り）
23.7×30.5cm
ヒロセコレクション蔵

1 ヨーゼフ・ボイス: 拡張する彫刻

02
ヨーゼフ・ボイス
原機、機型の椅子、肝臓、ジャイロスコープ
1962年
白墨、鉛筆、油彩、木
93.4×39.0×11.0cm
モイラント城美術館、ファン・デア・グリテン・
コレクション蔵

03
ヨーゼフ・ボイス
題名なし（ブラウクロイツ）
1962年
油彩（ブラウクロイツ）、脂肪、印刷された
紙（電信用紙）
14.7×21.0cm
モイラント城美術館、ファン・デア・グリテン・
コレクション蔵

04
ヨーゼフ・ボイス
脂肪と蜜蜂のなかの十字架
1964年
脂肪、蠟、封筒
12.5×17.5×0.3cm
モイラント城美術館、ファン・デア・グリテン・
コレクション蔵

05
ヨーゼフ・ボイス
直観
1968年
鉛筆の書込みのある箱
30.5×21.0×6.0cm
国立国際美術館蔵

06
ヨーゼフ・ボイス
直観
1968年
鉛筆の書込みのある箱
30.5×21.0×6.0cm
国立国際美術館蔵

07
ヨーゼフ・ボイス
直観

1968年
鉛筆の書込みのある箱
30.1×20.1×5.5cm
いわき市立美術館蔵

08
ヨーゼフ・ボイス
直観
1968年
鉛筆の書込みのある箱
30.5×21.0×6.0cm
gigei10蔵

09
ヨーゼフ・ボイス
直観
1968年
鉛筆の書込みのある箱
30.5×21.2×6.0cm
フォーエバー現代美術館蔵

10
ヨーゼフ・ボイス
ユーラシアの杖
1968-69年
フェルトで包まれた木材、銅の棒
425.0×14.5×14.5cm（木材 各）、cz.
406.0×2.0×8.0cm
クンストバラスト美術館、デュッセルドルフ蔵

11
ヨーゼフ・ボイス
ユーラシアの杖: 82分のフルクソルム・オルガ
ヌム（ヘニング・クリスティアンセンとの共演）
1968年2月9日
映像
22'53"
ZKM | メディア芸術センター、カールスルー
エ蔵

12
ヨーゼフ・ボイス
そり
1969年
木、毛布、懐中電灯、脂肪、ベルト、ロープ
35.0×90.0×35.0cm
いわき市立美術館蔵

13
ヨーゼフ・ボイス
シベリア横断鉄道
1970年2月
映像（撮影: オレ・ヨン）
19'01"
ZKM | メディア芸術センター、カールスルー
エ蔵

14
ヨーゼフ・ボイス
プリント1、2
1971年

プリント1: コート紙に活版印刷、書き込みと
スタンプ プリント2: 厚紙に活版印刷、硫黄
80.0×57.0cm（各）
個人蔵（埼玉県立近代美術館寄託）

15
ヨーゼフ・ボイス
20世紀製、華奢な人のための背中用コルセッ
ト（うさぎタイプ）
1972年
ブロンズ
100.0×53.0×17.0cm
クンストバラスト美術館、デュッセルドルフ蔵
（ヴィリ・ケンプより永久貸与）

16
ヨーゼフ・ボイス
ヴィトリヌ: チングス・ハーンの玉座
1965-83年
布、ビニール・チューブ、鉄、革紐、フェルト、
硫黄、顔料、脂肪、ヴィトリヌ（木、ガラス）、
鉄製台座
205.7×219.5×49.5cm
豊田市美術館蔵

17
ヨーゼフ・ボイス
シャーマン
1984年
シルクスクリーン
89.8×62.5cm
フォーエバー現代美術館蔵

18
ヨーゼフ・ボイス
ジョッキー帽
1963、85年
フェルト帽、脂肪、絵具、新聞紙
14.5×25.5×17.5cm
豊田市美術館蔵

19
ヨーゼフ・ボイス
原機にのるシカ
1985年
シルクスクリーン
89.7×62.7cm
フォーエバー現代美術館蔵

20
ヨーゼフ・ボイス
流れ中のヘラジカ
1985年
シルクスクリーン
89.7×62.7cm
フォーエバー現代美術館蔵

2 プリンキー・パレルモ: 絵画と物体のあわい

21
プリンキー・パレルモ
男と女
1963年
油彩、カンヴァス
72.0×67.0cm
個人蔵

22
プリンキー・パレルモ
題名なし
1964年頃
油彩、カンヴァス
58.5×35.8cm
モイラント城美術館、ファン・デア・グリテン・
コレクション蔵

23
プリンキー・パレルモ
無題
1964年
油彩（または合成塗料）、鉛筆、カンヴァス
95.5×80.7×2.2cm
MKMキュッパースミュレ近代美術館、ドイ
ツ/シュトレアコレクション蔵

24
プリンキー・パレルモ
無題
1964年
油彩（または合成塗料）、鉛筆、カンヴァス
95.0×80.2×2.0cm
MKMキュッパースミュレ近代美術館、ド
イツ/シュトレアコレクション蔵

25
プリンキー・パレルモ
題名なし
1965年頃
油彩、カンヴァス
54.8×45.8cm
モイラント城美術館、ファン・デア・グリテン・
コレクション蔵

26
プリンキー・パレルモ
緑に青
1965年
油彩、布、木
45.0×55.0×2.0cm
ボン市立美術館蔵

27
プリンキー・パレルモ
海辺にて
1966年
鉛筆、紙、カルトン
29.6×21.0cm
ヒロセコレクション蔵

28

プリンキー・パレルモ
無題
1967年
ポスターカード、ボールペン
48.0×48.0cm
個人蔵

29

プリンキー・パレルモ
無題
1967年
カゼイン、4×4材、コットン、モスリン
345.1×ca. 41.0×97.0cm
ボン市立美術館蔵

30

プリンキー・パレルモ
黒い箱
1968年
コットン、木、合成繊維板、着色
15.0×15.0×5.0cm
ヒロセコレクション蔵

31

プリンキー・パレルモ
灰色の円盤
1970年
カンヴァス、木、着色
13.5×26.5×2.0cm
ヒロセコレクション蔵

32

プリンキー・パレルモ
無題（赤い線のある）
1970年
シルクスクリーン、クロモルクス
55.4×57.4cm
ヒロセコレクション蔵

33

プリンキー・パレルモ
T
1970年
シルクスクリーン、オフセット印刷
49.5×51.0cm
ヒロセコレクション蔵

34

プリンキー・パレルモ
無題（クリスティンのために）
1973年
カゼイン、集積材
184.0×134.0×4.9cm
クンストバラスト美術館、デュッセルドルフ蔵

3 フェルトと布

35

ヨーゼフ・ボイス

女優と2本のフェルトロール（フェルトのアク
ション）
1964年
油絵具（ブラウンクロイツ）、靴跡、紙
61.1×43.0cm
モイラント城美術館、ファン・デア・グリテン・
コレクション蔵

36

ヨーゼフ・ボイス
人物とフェルト彫刻
1964年
油彩、鉛筆、紙
20.1×15.1cm
モイラント城美術館、ファン・デア・グリテン・
コレクション蔵

37

ヨーゼフ・ボイス
ヤー、ヤー、ヤー、ヤー、ヤー、ネー、ネー、
ネー、ネー、ネー、
1969年
フェルト、オーディオテープ
15.0×25.0×25.0cm
豊田市美術館蔵

38

ヨーゼフ・ボイス
フェルトスーツ
1970年
フェルト
170.0×60.0cm
フォーエバー現代美術館蔵

39

ヨーゼフ・ボイス
黒板消し
1974年
フェルト製の黒板消し、スタンプ
5.0×13.0×2.5cm
国立国際美術館蔵

40

ヨーゼフ・ボイス
レオナルド・ダ・ヴィンチ『マドリード手稿』の
ためのドロウイング
1975年
紙、グラノリトグラフ
23.0×16.5cm
国立国際美術館蔵

41

ヨーゼフ・ボイス
フェルトの葉書
1985年
フェルトにシルクスクリーン
10.5×15.0×0.9cm
国立国際美術館蔵

42

ヨーゼフ・ボイス

フェルトの葉書
1985年
フェルトにシルクスクリーン
10.5×15.0×0.9cm
国立国際美術館蔵

43

ヨーゼフ・ボイス
ブライト エLEMENT
1985年
フェルト・ロール、フェルト原料
147.0×330.0×31.0cm
豊田市美術館蔵

44

プリンキー・パレルモ
無題（布絵画：緑/青）
1969年
染色布、布〔裏側〕
198.5×198.5×3.0cm
クンストバラスト美術館、デュッセルドルフ蔵

45

プリンキー・パレルモ
無題
1969-70年
綿布、リネン〔裏側〕、ストレッチャー
199.6×199.8×2.0cm
ボン市立美術館蔵

46

プリンキー・パレルモ
無題
1970年
綿布、漂白した綿布、絹、木
200.0×200.0×3.0cm
豊田市美術館蔵

4 循環と再生

47

ヨーゼフ・ボイス
フェルト・コーナーと脂肪
1964年
インク（羽毛のついた）、ボールペン（?）、
スタンプのインク、油彩、蠟、脂肪、紙
29.7×21.1cm
モイラント城美術館、ファン・デア・グリテン・
コレクション蔵

48

ヨーゼフ・ボイス
題名なし（脂肪コーナー）
1965年頃
油彩、鉛筆、印刷された紙
21.5×34.1cm
モイラント城美術館、ファン・デア・グリテン・
コレクション蔵

49

ヨーゼフ・ボイス
光るバンをもった二人のお嬢さん
1966年
紙、チョコレート、油絵具（ブラウンクロイツ）
72.0×20.0×1.5cm
フォーエバー現代美術館蔵

50

ヨーゼフ・ボイス
『Interfunktionen 6』のなかに
1971年
雑誌『Interfunktionen 6』にばらばらに封入
されたそれぞれ異なる折り方の7色の色紙
29.0×21.0cm（雑誌）
豊田市美術館蔵

51

ヨーゼフ・ボイス
私はウィークエンドなんて知らない
1971-72年
アタッシュケース、マグーソースの瓶、イマ
ヌエル・カントの『純粹理性批判』
53.0×66.0×11.0cm
栃木県立美術館蔵

52

ヨーゼフ・ボイス
磨かれたクラウス・シュテック
1974年
厚紙、靴墨、ニードル
22.3×26.7×0.3cm
フォーエバー現代美術館蔵

53

ヨーゼフ・ボイス
小さな発電所
1984年
銅、鉄、フェルト
サイズ可変
国立国際美術館蔵

54

ヨーゼフ・ボイス
ヴィトリース：マルチブル
1969-85年
フェルト、ブリキ缶、グリース、ドライバー、
ガラス瓶、コルク栓、プラスチック板、ゼラ
チン、蜜蝋、銅、鋳、ヴィトリース（木、ガラス）、
鉄製台座
205.7×219.5×49.5cm
豊田市美術館蔵

55

ヨーゼフ・ボイス
直接民主制の為のバラ
1973年
書き込みのある、ガラス製のメスシリンダー
33.5×5.0cm
国立国際美術館蔵

56
プリンキー・パレルモ
青い三角形
1969年
ステンシル、絵筆、チューブの青い絵具、パ
レルモがステンシルで描いたオリジナル（紙）
48.5×53.5cm / 67.5×53×4cm（箱）
ヒロセコレクション蔵

57
プリンキー・パレルモ
4つのプロトタイプ
1970年
シルクスクリーン、プリストル紙
4点組 / 各60.0×60.0cm
個人蔵

58
プリンキー・パレルモ
フリッパー
1970年
シルクスクリーン
2点組 / 各85.5×66.0cm
ヒロセコレクション蔵

59
プリンキー・パレルモ
12のオリジナルリトグラフ
1970年
鉛版リトグラフ
12点組 / 各51.0×49.0cm
ヒロセコレクション蔵

60
プリンキー・パレルモ
ミニアチュール
1972年
ダイ・スタンピング・プレス、水彩用手漉き紙
5点組 / 各40.0×27.5cm
ヒロセコレクション蔵

61
プリンキー・パレルモ
ミニアチュール II
1975年
エンボス加工されたフォイルプリント、紙
4点組 / 各
40.0×27.0cm
gigei10蔵

62
プリンキー・パレルモ
無題
1974年
グラノリトグラフ
66.5×50.0cm
ヒロセコレクション蔵

5 霊媒的: ボイスのアクション

63
ヨーゼフ・ボイス
アクション / アジット・ポップ / デ＝コラージュ
 / ハプニング / イベント / アンチアート / オー
トリスム / アート・トータル / リフルクサス
1964年
オフセット印刷によるステーブルどめの冊子
30.0×21.4×0.3cm
うらわ美術館蔵

64
ヨーゼフ・ボイス
クーカイ、アコペーナーニン！ブラウンクロー
イツ、脂肪コーナー、モデル脂肪コーナー
1964年7月20日
映像
25'00"
ZKM | メディア芸術センター、カールスルー
エ蔵

65
ヨーゼフ・ボイス
ティートゥス / イフィグーニエ
1969年5月29日
映像
ZKM | メディア芸術センター、カールスルー
エ蔵

66
ヨーゼフ・ボイス
直接民主制の為にボイスはボクシングをする
1972年
スタンプが押され、オフセットで刷られたカー
ド
15.2×10.2cm
国立国際美術館蔵

67
ヨーゼフ・ボイス
民主主義は愉快だ
1973年
紙、シルクスクリーン
75.0×114.5cm
国立国際美術館蔵

68
ヨーゼフ・ボイス
ヒップアップ
1974年
ホウロウ引きの表札
20.0×30.0×1.0cm
フォーエバー現代美術館蔵

69
ヨーゼフ・ボイス
ディリンジャー
1974年
クロス張のケースにVHSビデオテープ
12.4×21.4×4.0cm

国立国際美術館蔵

70
ヨーゼフ・ボイス
私はアメリカが好き、アメリカも私が好き
1974年（5月23-25日）
映像
37'28"
ZKM | メディア芸術センター、カールスルー
エ蔵

71
ヨーゼフ・ボイス
ミラー・ピース
1975年
外側はラッカーで塗られ内側は鏡張りのヨー
ドクリスタルのビン、カード、小箱
18.5×10.5cm
国立国際美術館蔵

72
ヨーゼフ・ボイス
ミネアポリス-断片 [ブラウンクローイツのある]
1977-78年
リトグラフ、鉛筆、スタンプ、油絵具（ブラウ
ンクローイツ）
193.0×179.0cm
フォーエバー現代美術館蔵

73
ヨーゼフ・ボイス
負けない男
1979年
オフセット印刷によるポスター
88.1×62.9cm
国立国際美術館蔵

74
ヨーゼフ・ボイス
芸術＝資本
1979年
カラー写真、鉄フレーム、茶色の絵具の入っ
た壺
218.0×127.0cm
栃木県立美術館蔵

75
ヨーゼフ・ボイス
ヴィトリヌス: 耕地の素描
1963-83年
黒鉛坩堝、乾燥ソラマメ、鍬、シャベル、手
鎌、ヴィトリヌス（木、ガラス）、鉄製台座
205.7×209.5×49.5cm
豊田市美術館蔵

6 再生するイメージ: ボイスのドローイング

76
ヨーゼフ・ボイス
霊化

1951年
鉛筆、ステイン（液体金属酸化物?）、機械
漉きの紙
25.1×35.2cm
モイラント城美術館、ファン・デア・グリテン・
コレクション蔵

77
ヨーゼフ・ボイス
物語が紡ぎ出された地点
1952年
鉛筆、紙
15.7×14.4cm
モイラント城美術館、ファン・デア・グリテン・
コレクション蔵

78
ヨーゼフ・ボイス
太陽-翼-結晶
1952年
鉛筆、紙
19.0×11.6cm
モイラント城美術館、ファン・デア・グリテン・
コレクション蔵

79
ヨーゼフ・ボイス
集成岩と滝のそばにかかる虹
1952-53年
水彩、紙
21.1×29.7cm
モイラント城美術館、ファン・デア・グリテン・
コレクション蔵

80
ヨーゼフ・ボイス
題名なし（サーバ川の風景）
1953年
水彩、インク、ステイン（パイツェ）紙、油彩、
顔料、手漉き紙
16.1×32.9cm
モイラント城美術館、ファン・デア・グリテン・
コレクション蔵

81
ヨーゼフ・ボイス
耳を傾けよ！
1954年
鉛筆、紙
21.1×21.6cm
モイラント城美術館、ファン・デア・グリテン・
コレクション蔵

82
ヨーゼフ・ボイス
ミツバチの記念碑
1955年
液体、封筒と飾り紙、スタンプ
21.9×15.8cm
モイラント城美術館、ファン・デア・グリテン・
コレクション蔵

83
ヨーゼフ・ボイス
塑像を手がける彫刻家
1956年
鉛筆、紙
29.8×21.0cm
モイラント城美術館、ファン・デア・グリテン・コレクション蔵

84
ヨーゼフ・ボイス
無題
1957年
鉛筆、油彩
29.5×21.0cm
ヒロセコレクション蔵

85
ヨーゼフ・ボイス
題名なし（少女）
1957-58年
ステイン（パイツェ）、油彩、紙
20.9×29.5cm
モイラント城美術館、ファン・デア・グリテン・コレクション蔵

86
ヨーゼフ・ボイス
雄になる／雌になる
1958年
水彩（牛乳を溶いたもの？凝乳に着色？）、
脂肪、インク（羽毛のある）、鉛筆、色鉛筆、
紙
43.0×60.9cm
モイラント城美術館、ファン・デア・グリテン・
コレクション蔵

87
ヨーゼフ・ボイス
無題
1958年頃
鉛筆、金の塗料、紙
19.0×21.0cm
モイラント城美術館、ファン・デア・グリテン・
コレクション蔵

88
ヨーゼフ・ボイス
題名なし（女の頭部）
1958年
鉛筆、紙
14.6×20.8cm
モイラント城美術館、ファン・デア・グリテン・
コレクション蔵

89
ヨーゼフ・ボイス
白鳥の知性より
1959年
鉛筆、色鉛筆、紙
21.0×29.8cm

モイラント城美術館、ファン・デア・グリテン・
コレクション蔵

90
ヨーゼフ・ボイス
水辺の発電所
1959年
油彩、脂肪、機械漉きの紙
36.4×50.3cm
モイラント城美術館、ファン・デア・グリテン・
コレクション蔵

91
ヨーゼフ・ボイス
誰も住まなくなったホーガン（炉辺）
1959年
鉛筆、油彩、紙
20.8×29.6cm
モイラント城美術館、ファン・デア・グリテン・
コレクション蔵

92
ヨーゼフ・ボイス
爆発によって生じたかたまり
1961年
鉛筆、油彩、厚紙
22.4×33.3cm
モイラント城美術館、ファン・デア・グリテン・
コレクション蔵

93
ヨーゼフ・ボイス
題名なし（赤い十字のある裸婦）
ca.: 1961年
水彩、テンペラ、印刷された紙（パリの『ミシュ
ラン・ガイド』）
26.1×24.3×0.2cm
モイラント城美術館、ファン・デア・グリテン・
コレクション蔵

94
ヨーゼフ・ボイス
題名なし（2つの彫刻）
1961-62年
鉛筆、油彩、印刷された紙（ポケット・カレン
ダー）
16.8×12.0cm
モイラント城美術館、ファン・デア・グリテン・
コレクション蔵

95
ヨーゼフ・ボイス
ヤギの頭
1961-63年
油彩、紙、印刷されたトレーシングペーパー
29.5×21.0×2.0cm
モイラント城美術館、ファン・デア・グリテン・
コレクション蔵

96
ヨーゼフ・ボイス

黒い海
1962年
塗料、厚紙
29.8×21.1cm
モイラント城美術館、ファン・デア・グリテン・
コレクション蔵

97
ヨーゼフ・ボイス
金塊にまたがる女とヘラジカの記号
1962年
鉛筆、塗料、厚紙
15.1×21.3cm
モイラント城美術館、ファン・デア・グリテン・
コレクション蔵

98
ヨーゼフ・ボイス
情報モデル
制作年不詳
鉛筆、紙
21.0×29.6cm
モイラント城美術館、ファン・デア・グリテン・
コレクション蔵

99
ヨーゼフ・ボイス
死んだウサギに絵を説明するには
1965年 11月26日
映像
06'16"
ZKM | メディア芸術センター、カールスルー
エ蔵

100
ヨーゼフ・ボイス
あるヒロインのためのバスタブ
1950, 61, 84年
ブロンズ、電熱器、鉛
31.0×7.0×8.0cm、23.0×14.0×9.5cm
フォーエバー現代美術館蔵

101
ヨーゼフ・ボイス
『西洋人プロジェクト』（1958）より4冊の本
1958-65/1992年
グラノリトグラフ、シルクスクリーン
31.3×22.3×9.1cm
うらわ美術館蔵

7 蝶番的: パレルモの壁画

102
プリンキー・パレルモ
赤茶のオイルチョークによる壁画《5》
1968/69年
a) コピー、紙、厚紙
66.0×90.0cm
b-d) 写真、厚紙
各66.0×90.0cm

ボン市立美術館蔵

103
プリンキー・パレルモ
《モデル / 音楽のある壁画》（ベルリンのレネ・
ブロック画廊とプレーマー・ハーフェン現代美
術展示室）のドキュメンテーション
1968-69年
a) 鉛筆、フェルトペン、インク、グラフ用紙、
白黒写真、厚紙
90.0×66.0cm
b) 鉛筆、写真、厚紙
90.0×66.0cm
ボン市立美術館蔵

104
プリンキー・パレルモ
《布の張り》（エルンスト画廊、ハノーファー）
のドキュメンテーション
1969年
鉛筆、フェルトペン、紙、写真、厚紙
90.0×66.0cm
ボン市立美術館蔵

105
プリンキー・パレルモ
《青い三角形》（パレ・デ・ボザール、ブリュッ
セル）のドキュメンテーション
1970年
鉛筆、紙、写真、厚紙
90.0×66.0cm
ボン市立美術館蔵

106
プリンキー・パレルモ
クンストハレ・バーデン＝バーデンの大ホール
の壁画のドキュメンテーション
1970年
鉛筆、インク、厚紙、写真
90.0×66.0cm
ボン市立美術館蔵

107
プリンキー・パレルモ
《天井の周囲》（エルンスト画廊、ハノーファー）
のドキュメンテーション
1970年
鉛筆、厚紙
66.0×90.0cm
ボン市立美術館蔵

108
プリンキー・パレルモ
《青 / 黄 / 白 / 赤》（エディンバラ・カレッジ・オ
ブ・アートの階段室の壁画）のドキュメンテー
ション
1970年
a) 鉛筆、フェルトペン、紙、写真、厚紙
90.0×66.0cm
b) フェルトペン、厚紙、写真
66.0×90.0cm

c-f) アクリル、鉛筆、フェルトペン、厚紙
各66.0×90.0cm
ボン市立美術館蔵

109
プリンキー・パレルモ
リッソン画廊の「ウォールショー」のドキュメンテーション
1970年
フェルトペン、厚紙、タイプされたラベル
90.0×66.0cm
ボン市立美術館蔵

110
プリンキー・パレルモ
《窓I》（ブレーマー・ハーフェン現代美術展示室）のドキュメンテーション
1970年
a) 鉛筆、グラシン紙、厚紙、写真
90.0×66.0cm
b) 塗料、梱包紙、写真、厚紙
90.0×66.0cm
ボン市立美術館蔵

111
プリンキー・パレルモ
グラフィットによる壁画（メンヒェングラー・トバッハのアトリエ）のためのドキュメンテーション
1970/71年
鉛筆、厚紙、写真
90.0×66.0cm
ボン市立美術館蔵

112
プリンキー・パレルモ
メンヒェングラー・トバッハの新外国語高等学校の教育センターのための壁画プラン（実現せず）のドキュメンテーション
1971年
a) 鉛筆、水彩、厚紙
90.0×66.0cm
b) 鉛筆、ボールペン、塗料、写真、厚紙
90.0×66.0cm
ボン市立美術館蔵

113
プリンキー・パレルモ
ハイナー・フリードリヒ画廊の向かい合う壁の壁画のドキュメンテーション
1971年
a-b) 鉛筆、トレーシングペーパー、厚紙
各66.0×90.0cm
c) 写真、厚紙
66.0×90.0cm
ボン市立美術館蔵

114
プリンキー・パレルモ
壁画《窓II》（ミュンヘンのマクシミリアン通りの歩行者用地下通路）のドキュメンター

ション
1971年
a) 鉛筆、厚紙
90.0×66.0cm
b) 写真、厚紙
90.0×66.0cm
ボン市立美術館蔵

115
プリンキー・パレルモ
《扉の上の三角形（青 / 黒）》（フランツ・ダーレムとシクス・フリードリヒの住居）のドキュメンテーション
1971年
a) 鉛筆、トレーシングペーパー、厚紙
90.0×66.0cm
b) 写真、厚紙
90.0×66.0cm
ボン市立美術館蔵

116
プリンキー・パレルモ
フランツ・ダーレムの住居（ダルムシュタット）の壁画のドキュメンテーション
1971年
鉛筆、トレーシングペーパー、写真、厚紙
90.0×66.0cm
ボン市立美術館蔵

117
プリンキー・パレルモ
《グレイ・アングル》（シクス・フリードリヒの住居）のドキュメンテーション
1971年
鉛筆、紙、写真、厚紙
90.0×66.0cm
ボン市立美術館蔵

118
プリンキー・パレルモ
《変化した空間》（イミ・クネーベルとの共作、クンストハレ・バーデン＝バーデン）のドキュメンテーション
1971年
a-b) 鉛筆、紙、厚紙
各90.0×66.0cm
ボン市立美術館蔵

119
プリンキー・パレルモ
《階段室II》（エクスベリメンタ4、フランク・フルト・クンストフェライン）のドキュメンテーション
1971年
写真、厚紙
90.0×66.0cm
ボン市立美術館蔵

120
プリンキー・パレルモ
ユトレヒト・クリングの壁画のドキュメンター

ション
1971年
写真
90.0×66.0cm
ボン市立美術館蔵

121
プリンキー・パレルモ
ブレーマー・ハーフェン現代美術展示室の壁画のドキュメンテーション
1971/72年
a) 鉛筆、トレーシングペーパー、厚紙
90.0×66.0cm
b) 写真、厚紙
90.0×66.0cm
ボン市立美術館蔵

122
プリンキー・パレルモ
Ch. ユルゼイの家（ヴェゼル近郊ドレフェナック）のドキュメンテーション
1972年
写真、厚紙
90.0×66.0cm
ボン市立美術館蔵

123
プリンキー・パレルモ
ドクメンタ5（カッセル）の階段室の壁画のドキュメンテーション
1972年
鉛丹色に塗られた色見本、写真、厚紙
66.0×90.0cm
ボン市立美術館蔵

124
プリンキー・パレルモ
ハンブルク・クンストフェラインの壁画のドキュメンテーション
1973年
a-g) 写真、厚紙
90.0×66.0cm
h-i) リトグラフ、厚紙
90.0×66.0cm
j) シルクスクリーン、厚紙
90.0×66.0cm
ボン市立美術館蔵

125
プリンキー・パレルモ
コニー・アイランドII
1975年
アクリル、アルキド樹脂、アルミニウム
26.7×21.0×1.8cm（各）
MKMキュッパースミューレ近代美術館、ドイツ/シュトレアコレクション蔵

126
プリンキー・パレルモ
ヨーゼフ・ボイスのために（未完）
1964-76年

アクリル、アルキド樹脂、アルミニウム
26.3×13.3×1.9cm、26.7×20.9×1.8cm、
21.0×16.0×1.9cm
MKMキュッパースミューレ近代美術館、ドイツ/シュトレアコレクション蔵

127
プリンキー・パレルモ
無題
1977年
アクリル、アルミニウム
4点組 / 各
26.7×21.0×0.2cm
個人蔵

エビローグ: 声と息

128
ヨーゼフ・ボイス、ヨハネス・シュトゥツゲン、ヘニング・クリスティアンセン
ヤー、ヤー、ヤー、ヤー、ヤー、ネー、ネー、ネー、ネー、ネー、ネー、
1968年（2001年）
CD
64'53''
豊田市美術館蔵

129
ヨーゼフ・ボイス
コヨーテIII（ナムジュン・パイクとの共演）
1984年6月2日
映像
ZKM | メディア芸術センター、カールスルーエ蔵

130
ヨーゼフ・ボイス
《コヨーテIII》で使用された黒板
1984年
チョーク、黒板
540.0×90.0cm
セゾン現代美術館蔵

131
ヨーゼフ・ボイス
カブリ・バッテリー
1985年
木箱に入ったソケットプラグ付きの白熱電球、レモン
8.0×11.0×6.0cm
国立国際美術館蔵

132
プリンキー・パレルモ
無題（セロニアス・モンクに捧げる）
1973年
合板、塗料（黒）、鏡
22.2×89.6×3.2cm
豊田市美術館蔵

133

プリンキー・パレルモ

無題

1976-77年

アクリル、アルミニウム

4点組／各26.7×21.0×0.2cm

個人蔵

モンドリアン展 純粋な絵画をもとめて

2021年7月10日[土]ー9月20日[月・祝]

64日間

展示室8

本展ではオランダのハーグ市立美術館所蔵のモンドリアン作品50点と、国内外美術館から借用したモンドリアン作品と関連作家作品約20点を展示した。

モンドリアン作品を多数収蔵するハーグ市立美術館からは、1890年代の初期風景画から後期に描かれた〈コンポジション〉シリーズまでの幅広い作品を借用することができた。これにより、ハーグ派、神智学、キュビズムなどの要素を取り入れながら画風を変化させ、抽象絵画に到達したモンドリアンの制作の変遷を通じ見る展覧会を実現することができた。また、テオ・ファン・ドゥースブルフらとともに結成した「デ・ステイル」メンバーの作品をモンドリアン作品と並べて展示することで、同時期の作家相互の影響やデザイン領域への展開なども改めて検証できた展覧会であった。

観覧料: 一般1,400円 [1,200円] / 高大学生1,000円 [800円] / 中学生以下無料

※[]内は前売り及び20名以上の団体料金 ※障がい者手帳をお持ちの方(介添者1名)、豊田市内在住又は在学の高校生及び豊田市内在住の75歳以上は無料[要証明]

主催: 豊田市美術館、日本経済新聞社、テレビ愛知

共催: 中日新聞社

協賛: 野崎印刷紙業

後援: オランダ王国大使館、FM AICHI、ZIP-FM

協力: KLMオランダ航空

出品点数: 67点

観覧者数: 35,880人



ポスター



展示風景



展示風景



展示風景

トーク記事配信

ゲスト: 佐藤克久(作家)

佐藤氏によるトークをウェブマガジン「LIVERARY」の特集記事として配信

実施日: 8月9日[月・祝]

実施場所: モンドリアン展会場(展示室8)

印刷物:

ディザイナースター: B1判

ポスター: B1判、B2判

チラシ: A3判(二つ折り)

小型チラシ: 葉サイズ(3種)

作品リスト: A3判(二つ折り)

会場マップ: A4判

図録: 29.6×18.0cm(188頁)

デザイン: シルシ

作品輸送・展示: ヤマト運輸株式会社

会場設営: 株式会社カトウスタジオ

学芸担当: 石田大祐、鈴木俊晴

庶務担当: 龍谷明日香、塚田恵理子

01
ピート・モンドリアン
王立蠟燭工場
1895-99年頃
油彩、カンヴァス、厚紙
35.0×48.0cm
デン・ハーグ美術館蔵

02
ピート・モンドリアン
干し物のある農家
1897年頃
油彩、厚紙
31.5×37.5cm
デン・ハーグ美術館蔵

03
ピート・モンドリアン
干し物と農家屋
1894-97年頃
油彩、厚紙
36.5×54.0cm
デン・ハーグ美術館蔵

04
ピート・モンドリアン
田舎道と家並み
1898-99年頃
油彩、紙
39.0×29.5cm
デン・ハーグ美術館蔵

05
ピート・モンドリアン
農家の庭の女性
1894-96年
油彩、厚紙
37.0×23.0cm
デン・ハーグ美術館蔵

06
ピート・モンドリアン
農家
1895年
油彩、カンヴァス
46.0×55.0cm
デン・ハーグ美術館蔵

07
ピート・モンドリアン
幼子
1900-01年
油彩、カンヴァス
53.0×44.0cm
デン・ハーグ美術館蔵

08
ピート・モンドリアン
ヘイン河畔の洗濯物干し
1900-02年頃
油彩、カンヴァス

25.5×38.5cm
デン・ハーグ美術館蔵

09
ピート・モンドリアン
乳牛のいる牧草地
1902-05年
油彩、紙、厚紙
25.5×32.5cm
デン・ハーグ美術館蔵

10
ピート・モンドリアン
ヘイン河畔の枝を切り落とされた柳の木立
1902-04年
油彩、カンヴァス
54.0×63.0cm
デン・ハーグ美術館蔵

11
ピート・モンドリアン
ヘイン河畔の枝を切り落とされた柳の木々
1902-04年
油彩、カンヴァス、厚紙
48.5×52.0cm
デン・ハーグ美術館蔵

12
ピート・モンドリアン
ヘイン河畔の柳の木々と農場
1902-04年
油彩、カンヴァス、パネル
31.0×35.0cm
デン・ハーグ美術館蔵

13
ピート・モンドリアン
ヘイン河畔の樹
1903年頃
油彩、カンヴァス
37.0×24.0cm
京都国立近代美術館蔵

14
ピート・モンドリアン
牛小屋の近くに
1904年
油彩、厚紙、パネル
30.5×38.0cm
デン・ハーグ美術館蔵

15
ピート・モンドリアン
ニステルローデの納屋
1904年
油彩、厚紙、パネル
33.0×43.0cm
デン・ハーグ美術館蔵

16
ピート・モンドリアン

牧草地の茶と白の雌牛
1904-05年
油彩、紙、パネル
26.5×32.0cm
デン・ハーグ美術館蔵

17
ピート・モンドリアン
雄牛
1904-05年
油彩、厚紙
31.5×38.5cm
デン・ハーグ美術館蔵

18
ピート・モンドリアン
農家、ブラバント
1904年
油彩、紙、厚紙
28.5×34.0cm
デン・ハーグ美術館蔵

19
ピート・モンドリアン
ヘイン河畔-水辺の木々
1905年頃
油彩、カンヴァス、パネル
25.0×32.0cm
デン・ハーグ美術館蔵

20
ピート・モンドリアン
枝を切り落とされた柳の木立
1902-04年
油彩、カンヴァス
22.5×27.5cm
デン・ハーグ美術館蔵

21
ピート・モンドリアン
にわとりのいる農家の庭
1901年
油彩、カンヴァス
49.0×68.5cm
デン・ハーグ美術館蔵

22
ピート・モンドリアン
ダイフェンドレヒトの農家
1905年頃
油彩、カンヴァス
46.0×59.0cm
デン・ハーグ美術館蔵

23
ピート・モンドリアン
夕暮れ時の木々のある原野 II
1907年
油彩、厚紙
43.0×48.5cm
デン・ハーグ美術館蔵

24
ピート・モンドリアン
ヘイン河畔-水辺の木々
1906-07年
油彩、カンヴァス
45.0×66.0cm
デン・ハーグ美術館蔵

25
ピート・モンドリアン
「夕暮れの風景」の下描き
1907年
油彩、カンヴァス
36.0×49.5cm
デン・ハーグ美術館蔵

26
ピート・モンドリアン
二人の肖像
1908-09年
油彩、カンヴァス
34.0×31.6cm
デン・ハーグ美術館蔵

27
ピート・モンドリアン
木
1908年
油彩、カンヴァス
50.0×35.5cm
デン・ハーグ美術館蔵

28
ピート・モンドリアン
枯れゆくひまわり II
1908年
油彩、厚紙
65.0×34.0cm
デン・ハーグ美術館蔵

29
ピート・モンドリアン
ウェストカベレの灯台と雲
1908年
油彩、カンヴァス
71.0×52.0cm
デン・ハーグ美術館蔵

30
ピート・モンドリアン
少女の肖像
1908年
油彩、カンヴァス、パネル
49.0×41.5cm
デン・ハーグ美術館蔵

31
ピート・モンドリアン
陽の当たる家
1909年
油彩、カンヴァス

52.5×68.0cm
デン・ハーグ美術館蔵

32
ピート・モンドリアン
日没後の海
1909年
油彩、厚紙
62.5×74.5cm
デン・ハーグ美術館蔵

33
ピート・モンドリアン
砂丘Ⅰ
1909年
油彩、厚紙
30.0×40.0cm
デン・ハーグ美術館蔵

34
ピート・モンドリアン
砂丘Ⅲ
1909年
油彩、厚紙
29.5×39.0cm
デン・ハーグ美術館蔵

35
ピート・モンドリアン
砂丘
1909年
油彩、鉛筆、厚紙
29.6×39.1cm
公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館蔵

36
ピート・モンドリアン
ドンブルグ教会
1909年
油彩、厚紙
36.0×36.0cm
デン・ハーグ美術館蔵

37
ピート・モンドリアン
ウエストカベレの灯台
1909年
油彩、厚紙
39.0×29.5cm
デン・ハーグ美術館蔵

38
ピート・モンドリアン
オランダカイウ（カラー）；青い花
1908-09年
油彩、カンヴァス
46.0×32.0cm
デン・ハーグ美術館蔵

39
ピート・モンドリアン
ドンブルグの教会塔
1911年
油彩、カンヴァス
114.0×75.0cm
デン・ハーグ美術館蔵

40
ピート・モンドリアン
風景
1912年
油彩、カンヴァス
63.0×78.0cm
デン・ハーグ美術館蔵

41
ピート・モンドリアン
女性の肖像
1912年
油彩、カンヴァス
115.0×88.0cm
デン・ハーグ美術館蔵

42
ピート・モンドリアン
コンポジション木々2
1912-13年
油彩、カンヴァス
98.0×65.0cm
デン・ハーグ美術館蔵

43
ピート・モンドリアン
色面の楕円コンポジション2
1917年
油彩、カンヴァス
113.0×84.5cm
デン・ハーグ美術館蔵

44
ピート・モンドリアン
花咲く木々
1902-05/1916-18年
油彩、カンヴァス、厚紙
28.0×24.0cm
デン・ハーグ美術館蔵

45
ピート・モンドリアン
コンポジション（プラスとマイナスのための習作）
1916年頃
油彩、鉛筆、カンヴァス
124.5×75.0cm
京都国立近代美術館蔵

46
ピート・モンドリアン
色面のコンポジション No.3
1917年

油彩、カンヴァス
48.0×61.0cm
デン・ハーグ美術館蔵

47
ピート・モンドリアン
夕暮れの風車
1917年
油彩、カンヴァス
103.0×86.0cm
デン・ハーグ美術館蔵

48
ピート・モンドリアン
二本のオランダカイウ
1918年
油彩、カンヴァス
80.0×50.0cm
デン・ハーグ美術館蔵

49
ピート・モンドリアン
自画像
1918年
油彩、カンヴァス
88.0×71.0cm
デン・ハーグ美術館蔵

50
ピート・モンドリアン
格子のコンポジション 8 -暗色のチェッカー盤コンポジション-
1919年
油彩、カンヴァス
84.0×102.0cm
デン・ハーグ美術館蔵

51
ピート・モンドリアン
大きな赤色の色面、黄、黒、灰、青色のコンポジション
1921年
油彩、カンヴァス
59.5×59.5cm
デン・ハーグ美術館蔵

52
ピート・モンドリアン
赤、青、黒、黄、灰色のコンポジション
1924年
油彩、カンヴァス
39.5×35.0cm
デン・ハーグ美術館蔵

53
ピート・モンドリアン
コンポジション No.1
1929年
油彩、カンヴァス
40.5×32.5cm
京都国立近代美術館蔵

54
ピート・モンドリアン
線と色のコンポジション：Ⅲ
1937年
油彩、カンヴァス
80.0×77.0cm
デン・ハーグ美術館蔵

55
テオ・ファン・ドゥースブルフ
コンポジションⅧ
1918年
油彩、合板
29.5×30.0cm
アムステルダム市立美術館蔵

56
バート・ファン・デル・レック
コンポジション
1918-20年
油彩、カンヴァス
100.5×100.5cm
アムステルダム市立美術館蔵

57
バート・ファン・デル・レック
コンポジション（花咲く枝）
1921年
油彩、カンヴァス
38.5×56.0cm
ファン・アッペ美術館蔵

58
テオ・ファン・ドゥースブルフ
コンポジションXXII
1922年
油彩、カンヴァス
45.5×43.3cm
ファン・アッペ美術館蔵

59
ハンス・リヒター
色彩のオーケストレーション
1923年
油彩、カンヴァス
177.0×49.0cm
東京国立近代美術館蔵

60
ジョージ・ファントングェルロー
形態と色彩の機能
1937年
油彩、合板
101.6×101.6cm
DIC川村記念美術館蔵

61
アンドレ・ケルテス
モンドリアンのアトリエ、パリ
1926年
ゼラチン・シルバープリント

24.6×18.3cm

京都国立近代美術館蔵

62

ヘリット・トーマス・リートフェルト

アームチェア

デザイン年: 1918年、再製作年: 1958年 (ヘ

ラルト・A・ファン・デ・フルーネカン)

カシ

90.0×60.0×60.0cm

豊田市美術館蔵

63

ヘリット・トーマス・リートフェルト

アームチェア

製作年: 1919年頃 (ヘラルト・A・ファン・デ・フ

ルーネカン)

ブナ、マツ (またはモミ)

87.0×60.5×80.0cm

豊田市美術館蔵

64

ヘリット・トーマス・リートフェルト

ベルリン・チェア

デザイン: 1923年、再製作年: 1958年 (ヘラ

ルト・A・ファン・デ・フルーネカン)

マツ (またはモミ)

105.5×68.5×55.2cm

豊田市美術館蔵

65

ヘリット・トーマス・リートフェルト

ジグザグ・チェア

デザイン年: 1932-33年、製作年: 1940年

(ヘラルト・A・ファン・デ・フルーネカン)

カエデ、ボルト、ナット

73.0×35.7×43.0cm

豊田市美術館蔵

66

ヘリット・トーマス・リートフェルト

ジグザグ・チェア

デザイン: 1934年、製作: 1997年 (カッシー

ナ社)

サクラ

74.5×37.0×43.0cm

豊田市美術館蔵

67

ヘリット・トーマス・リートフェルト

レッド アンド ブルー ラウンジチェア

デザイン: 1918年、製作: 1997年 (カッシー

ナ社)

ブラックアニリン染色塗装仕上、ウレタン塗

装仕上、ブナ

88.0×65.5×83.0cm

豊田市美術館蔵

ホー・ツーニエン 百鬼夜行

2021年10月23日 [土]ー 2022年1月23日 [日]

74日間

展示室1-4

ホー・ツーニエンは、映像、インスタレーション、サウンド、演劇といった多領域を横断しつつ、時に妖艶に、時にダイナミックに観る者を魅了しながら、出身地のシンガポールを軸にアジアを舞台にした作品を展開する。本展では、奇怪かつ滑稽な100の妖怪たちが闇を練り歩く。そこでは、第二次世界大戦中にマレー（シンガポールは1963年にマレーから独立）で活動した、2人の「マレーの虎」ー山下奉文将軍と60年代のヒーロー番組「怪傑ハリマオ」のモデルになった谷豊を中心に、その周囲で暗躍した軍人やスパイ、当時の思想家たちが妖怪の姿を借りて登場する。日常の裂け目から現れる妖怪は、戦争にも似て、魔に魅入られた時代を映し出す。恐怖と好奇心で大衆の心を惹きつけてきた妖怪は、伝承と科学、自然と超自然、忘却と郷愁の間で、時代とともに揺れ動いてきた。20世紀以降に見えなくなった妖怪たちは、今やアニメや漫画の世界で跳梁跋扈している。近代以降に消えた妖怪とそれ以降に世界を席卷した戦争ーこの過去と近代が交わる地点に、複雑な日本の歴史や精神史を浮かび上がらせた。

観覧料: 一般1,000円 [800円] / 高大学生800円 [600円] / 中学生以下無料

*[] 内は前売り及び20名以上の団体料金。障がい者手帳をお持ちの方（介添者1名）、豊田市内在住又は在学
の高校生及び豊田市内在住の75歳以上は無料 [要証明]

主催: 豊田市美術館

共催: 中日新聞社

助成: 芸術文化振興基金

出品点数: 4点

観覧者数: 18,052人



ポスター



展示風景



展示風景



展示風景

関連事業:

対談「妖怪・美術・近代」

講師: ホー・ツーニエン、畑中章宏 (民俗学者)

日時: 10月24日 [日] 午後2時ー4時

会場: 講堂、オンラインでのライブおよびアーカイブ配信

講演会「覚えていることと思い出すこと」

講師: 與那覇潤 (評論家)

日時: 1月22日 [土] 午後2時ー3時30分

会場: 講堂、オンラインでのライブおよびアーカイブ配信

作家トーク「ホー・ツーニエンに聞いてみたいこと」

講師: ホー・ツーニエン

日時: 1月23日 [日] 午後7時ー8時

会場: オンラインでのライブおよびアーカイブ配信

関連展示:

とよたまちなか芸術祭特別展示 ホー・ツーニエン

《旅館アボリア》

会場: 豊田産業文化センター内「喜楽亭」

会期: 2021年12月4日 [土] - 2022年1月23日 [日]

印刷物:

ポスター: B1判、B2判

チラシ: A4判

作品ガイド: A3判 / ニつ折り / 8ページ

図録: 22.0×14.0cm / 280ページ

グラフィックデザイン: 林琢真

会場設営: ミラクルファクトリー

学芸担当: 能勢陽子、千葉真智子

庶務担当: 小川晃一

01

ホー・ツーニエン
100の妖怪
2021年
3チャンネル・ビデオ、両面スクリーン、透過
性スクリーン、6チャンネル・オーディオ:
16分30秒

02

ホー・ツーニエン
36の幽霊
2021年
シングルチャンネル・ビデオ、ミラースクリー
ン、6チャンネル・オーディオ

03

ホー・ツーニエン
1人もしくは2人のスパイ
2021年
2チャンネル・ビデオ、両面スクリーン、4チャ
ンネル・オーディオ:
17分25秒

04

ホー・ツーニエン
1人もしくは2人の虎
2021年
2チャンネル・ビデオ、壁2枚、4チャンネル・
オーディオ:
映像1: 8分、映像2: 8分

特別連携展示：豊田産業文化センター内「喜
楽亭」
ホー・ツーニエン
旅館アボリア
2019年
6チャンネル映像インスタレーション、マルチ
チャンネルサウンド、扇風機、変換器、照明
コントロールシステム 84分
This work was supported by Aichi
Triennale 2019.

収集作品一覧

2021年度末 総点数

国内作家	2926点
国外作家	631点
合計	3557点

2021年度 購入作品

国内作家	0点
国外作家	0点

2021年度 寄贈作品

国内作家	9点
国外作家	0点

寄贈作品 | 国内作家 | 美術



秋岡美帆
AKIOKA Miho
ゆれるかげ-3 1992.12.25

1992年
NECOプリント、麻紙
217.0×276.0cm



秋岡美帆
AKIOKA Miho
ゆれるかげ 1996.8.21

1996年
NECOプリント、麻紙
217.0×275.5cm



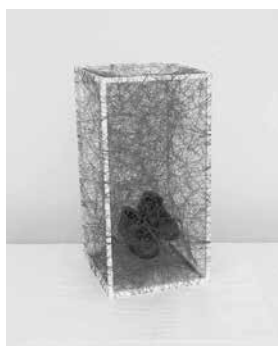
秋岡美帆
AKIOKA Miho
光の間 02-5-30-2

2002年
NECOプリント、麻紙
217.0×276.0cm



イクムラレイコ
IKEMURA Leiko
大きいライオンの家

1990年代
粘土
23.0×40.0×13.0cm



塩田 千春
SHIOTA Chiharu
トラウマ／日常ー赤い靴

2007年
鉄、糸、革
25.0×25.0×50.0cm



若林 奮
WAKABAYASHI Isamu
SEVERAL STRATUMS-1

1991年
エッチング、アクアチント、紙
100.0×85.0cm



若林 奮
WAKABAYASHI Isamu
SEVERAL STRATUMS-2

1991年
 ソフトグラウンドエッチング、紙
 100.0×85.0cm



若林 奮
WAKABAYASHI Isamu
SEVERAL STRATUMS-3

1991年
 エッチング、アクアチント、紙
 100.0×85.0cm



若林 奮
WAKABAYASHI Isamu
SEVERAL STRATUMS-4

1991年
 エッチング、アクアチント、紙
 100.0×75.0cm

作品貸出実績

※会期が複数年度にまたがる巡回展は、2021年度分のみとした。
 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、会期変更もしくは臨時休館した展覧会がある。

作家名	作品名	展覧会名／会場	会期
立石 大河亞	約束の時間	大・タイガー立石展	
立石 大河亞	借景亭	千葉市美術館	2021年4月10日-7月4日
立石 大河亞	水の巻	青森県立美術館	2021年7月20日-9月5日
		高松市美術館	※2021年9月1日-9月5日は臨時休館 2021年9月18日-11月3日
		埼玉県立近代美術館・うらわ美術館（同時開催）	※2021年9月18日-10月3日は臨時休館 2021年11月16日-2022年1月16日
藤田 嗣治	美しいスペイン女	フジター色彩への旅	
藤田 嗣治	キャンボシヤ平原	ポラ美術館	2021年4月17日-9月5日
藤田 嗣治	自画像		
山本 富章	2007	令和元年度豊田芸術選奨受賞記念 山本富章展	
		豊田市美術館 ギャラリー	2021年6月4日-6月12日
久野 和洋	地の風景・夕暮れ近く	久野和洋の世界展	
久野 和洋	地の風景・明ける刻	池田20世紀美術館	2021年6月24日-10月12日
ヨーゼフ・ボイス	ジョッキー帽	ボイス+パレルモ	
ヨーゼフ・ボイス	プライト エレメント	埼玉県立近代美術館	2021年7月10日-9月5日
ヨーゼフ・ボイス	ヴィトリヌス:チンギス・ハーンの玉座	国立国際美術館	2021年10月2日-2022年1月16日
ヨーゼフ・ボイス	ヤー、ヤー、ヤー、ヤー、ヤー、ネー、 ネー、ネー、ネー、ネー		
ヨーゼフ・ボイス	『Interfunktionen 6』のなかに		
プリンキー・パレルモ	無題		
プリンキー・パレルモ	無題（セロニアス・モンクに捧げる）		
村瀬 恭子	Watering Place	長野県立美術館グランドオープン記念 森と水と生きる	
		長野県立美術館	2021年8月28日-11月3日
ルネ・マグリット	無謀な企て	Magritte Machine	
		Museo Nacional Thyssen-Bornemisza, Madrid	2021年9月14日-2022年1月30日
		Fundación La Caixa, Barcelona	2022年2月24日-6月6日
ダニエル・ビュレン	定まらないフォルムの絵画	ミニマル／コンセプチュアル:ドロテ&コンラート・フィッシャーと1960-70年代美術	
ダニエル・ビュレン	無題	DIC川村記念美術館	2021年10月9日-2022年1月10日
		愛知県美術館	2022年1月22日-3月13日
		兵庫県立美術館	2022年3月26日-5月29日
奥谷 博	百花王	奥谷博ー無窮へ	
		高知県立美術館	2021年11月3日-2022年1月16日
		神奈川県立近代美術館・葉山	2022年2月12日-4月3日

作家名	作品名	展覧会名／会場	会期
コロマン・モーザー	アームチェア	上野リチの仕事:ウィーンから来たデザイン・ファンタジー	
コロマン・モーザー	花入れ	京都国立近代美術館	2021年11月16日-2022年1月16日
ヨーゼフ・ホフマン	フラットウェア・サービス	三菱一号館美術館	2022年2月18日-5月15日
ユリウス・ジンペル	BAHIA		
フェリス・リックス (=ウエノ)	ピアリッツ		
フェリス・リックス (=ウエノ)	ギザギザバンド		
フェリス・リックス (=ウエノ)	JUSSUF		
ミッツィ・フリードマン=オッテン	テキスタイルのデザイン		
フェリス・リックス (=ウエノ)	森に咲く草花		
フェリス・リックス (=ウエノ)	苔の花		
フェリス・リックス (=ウエノ)	バリ		
フェリス・リックス (=ウエノ)	農作物		
フェリス・リックス (=ウエノ)	マルタ		
フェリス・リックス (=ウエノ)	DNJSTR		
マリア・リカルツ	EBRO		
ダゴベルト・ベッヒェ	ガンジスの花		
ダゴベルト・ベッヒェ	ダフネ		
ダゴベルト・ベッヒェ	楽園		
ダゴベルト・ベッヒェ	タチジャコソウ		
ダゴベルト・ベッヒェ	オルフェウス		
ダゴベルト・ベッヒェ	ダフネ		
ウィーン工房	封筒		
ウィーン工房	ウィーン工房の便箋		
ウィーン工房	ウィーン工房の納品書		
マティルデ・フレーグル	ウィーン工房 1903-28—近代工芸と その歩み ほか 計76点		
高松 次郎	点	Between Collectivism and Individualism - Japanese Avant-Garde of the 1950s and the 1960s	
高松 次郎	紐 (黒 No.1)	Zachęta — National Gallery of Art	2021年11月25日-2022年3月13日
高松 次郎	紐 (黒)		
白髪 一雄	無題		
ジョアン・ミロ	絵画	ミロ展-日本を夢みて Bunkamura ザ・ミュージアム	2022年2月11日-4月17日

1 講演会、シンポジウム

■ ボイス+パレルモ

レクチャー「ヨーゼフ・ボイス生誕100年記念日 ヨーゼフ・ボイスのユーラシア」

講師：渡辺真也（映画監督、インディペンデント・キュレーター）

日時：5月12日[水]午後7時～9時

会場：オンラインでのライブ配信

視聴回数：1,165回

■ ボイス+パレルモ

レクチャー「中世美術から見たヨーゼフ・ボイス」

講師：木俣元一（美術史、名古屋大学大学院教授）

日時：6月12日[土]午後7時～9時

会場：オンラインでのライブ配信

視聴回数：489回

■ ボイス+パレルモ

レクチャー「プリンキー・パレルモについて」

講師：林道郎（美術史、美術批評、上智大学国際教養学部教授）

日時：6月13日[日]午後7時～9時

会場：オンラインでのライブ配信

視聴回数：603回

■ ボイス+パレルモ

レクチャー「ヨーゼフ・ボイスの自己神話化—芸術と政治の間で」

講師：水野俊（美術史、慶應義塾大学大学院文学研究科美学美術史学専攻博士課程）

日時：6月18日[金]午後7時～9時

会場：オンラインでのライブ配信

視聴回数：329回

■ ボイス+パレルモ

インタビュー「画家が語る画家—パレルモについて、ボイスについても少し」

講師：額田彦彦（画家）

※内容を美術館ウェブサイトにてPDFで公開

■ 「モンドリアン展 純粋な絵画をもとめて」

ゲストアーティストによるトーク

講師：佐藤克久（作家）

日時：8月9日[月・祝]（収録）

会場：展示室8

参加人数：作品ガイドボランティア 30人

※一般公開せず、内容をウェブマガジン「LIVERARY」

の記事として配信

■ 第2期常設展示

講演会「下村観山《美人と舍利》を読み解く—河骨と芭蕉葉文様を手がかりに」

講師：藤井享子（日本近世服飾史研究家）

日時：8月10日[火]午後2時～3時30分

会場：講堂

参加人数：作品ガイドボランティア13人

オンライン・アーカイブ視聴：969回

■ 常設特別展「寺内曜子 バンゲア」

作家記念講演会

講師：寺内曜子（作家）

日時：9月12日[日]午後2時～3時30分

会場：講堂、オンラインでのライブ配信

参加人数：56人

オンライン・アーカイブ視聴：742回

■ 「ホー・ツーニエン 百鬼夜行」

対談「妖怪・美術・近代」

講師：ホー・ツーニエン（作家）、畑中章宏（民俗学者）

日時：10月24日[日] 午後2時～4時

会場：講堂、オンラインでのライブ配信

参加人数：60人

オンライン・アーカイブ視聴回数：3,161回

■ 「ホー・ツーニエン 百鬼夜行」

講演会「覚えていることと思ひ出すこと」

講師：與那覇潤（評論家）

日時：1月22日[土]午後2時～3時30分

会場：講堂、オンラインでのライブ配信

参加人数：58人

オンライン・アーカイブ視聴回数：4,194回

■ 「ホー・ツーニエン 百鬼夜行」

作家トーク「ホー・ツーニエンに聞いてみたいこと」

講師：ホー・ツーニエン（作家）

日時：1月23日[日]午後7時～8時

会場：オンラインでのライブ配信

オンライン・アーカイブ視聴回数：3,682回



■ 美術館教育レクチャーシリーズ vol.2

講演会「能動的に「見る」こと—いまもっとも大切なこと」

講師：降旗千賀子（元目黒区美術館学芸係長、&4+doキュレーター）

日時：2月20日[日]午後2時～4時

会場：講堂

参加人数：48人

■ 豊田市美術館オンライントークシリーズvol.1

豊田市の現代建築～美術館と2024年にオープンする博物館を中心に

講師：五十嵐太郎（建築史家）

日時：3月13日[日]午後7時～9時

会場：オンラインでのライブ配信

オンライン・アーカイブ視聴回数：815回

※オンライン・アーカイブの視聴回数は2021年度末まで。

2 アウトリーチ活動

オンライン授業

■ 「美術館館長にきいてみよう」

講師：高橋秀治

日時：7月15日[木]

対象：豊田市立井上小学校

参加者：3年生（3クラス）

出張ワークショップ

■ ワークショップ「えのぐじっけんしつ」

講師：多田圭佑（作家）

日時：7月31日[土]、8月1日[日]

対象：小学校3年生以上

会場：エコフタタウン

参加人数：10人

※豊田市役所未来都市推進課との共同企画



3 コンサート、映画上映会、パフォーマンス 等

コンサート

「ホー・ツーニエン 百鬼夜行」関連コンサート

主催：(公財)高橋記念美術文化振興財団

出演：西村洋美、森山涼介、桐山尚子

日時：11月23日[火・祝]午後2時～3時

会場：講堂

参加人数：70人

「サンセット／サンライズ」関連コンサート

主催：(公財)高橋記念美術文化振興財団

出演：古賀智子、富永愛子

日時：3月5日[土]午後2時～3時

会場：講堂

参加人数：71人

出張授業

「ワークショップ「神話の風景をつくろう」

講師：占部史人（作家）

日時：2月21日[月]午前9時40分～12時35分

会場：豊田市立井上小学校

参加者：3年生（3クラス）

4 写生大会

主催：(公財)高橋記念美術文化振興財団

協力：愛知県立芸術大学

日時：11月7日[日]午前10時～午後3時

会場：庭園

参加人数：55人

5 庭園活用事業

美術館庭園を活用し、美術館への来館促進及びにぎわいの創出を目的に平成27年(2015年)秋から実施

「夏のドリンクスタンド」

日時：7月10日[土]～9月20日[月・祝]

午前10時～午後4時（18日間）

会場：庭園

参加人数：1,118人

出店数：のべ3店（1日あたり1店）

「お庭でマルシェ」

日時：11月27日[土]～28日[日]

午前10時～午後4時（2日間）

会場：庭園

参加人数：1,943人

出店数：のべ50店（1日あたり25店）

共催：豊田市中心市街地活性化協議会

運営：一般社団法人TCCM

6 作品ガイドボランティア

美術館の教育・普及活動を支援、活性化していくことを目的に平成8年より活動を開始。

令和4年3月現在、27名が登録。

ギャラリーツアー

※2021年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のためツアーは行わなかった。

鑑賞入門プログラム みる×かんがえる×つたえる鑑賞会

内容：作品ガイドボランティアとの対話を交えながら、ひとつの作品を30～40分かけて鑑賞するプログラム。新型コロナウイルス感染症対策を講じるため、展示室では作品の実見に留め、講堂で対話型鑑賞を実施した。

各回午後2時～(2022年は各回午後1時～)

日にち	トーカー	作 品	参加人数
4月28日	舟見	プリンキー・パレルモ《無題》	22
5月4日	戸田	ギュンター・ユッカー《変動する白の場》	30
7月25日	松葉	高松次郎《板の単体》	29
8月8日	林	ピート・モンドリアン《大きな赤の色面、黄、黒、灰、青色のコンポジション》	41
8月22日	吉田	岸田劉生《代々木附近》	29
8月28日	矢頭	田中敦子《Work 1963 B》	19
9月4日	眞島	ヴォルフガング・ライブ《ライスハウス》	21
9月11日	三島	村瀬恭子《White Coat》	24
9月20日	松下	額田宣彦《ジャングルジム》	30
11月7日	角田	河原温《Today series》	18
11月20日	岡崎	李 禹煥《風と共に》	18
12月5日	加藤	ダニエル・スペーリ《レストラン・シティ・ギャラリー》	11
12月26日	岡野	ミケランジェロ・ピストレット《窃視者》	16
1月16日	喜田	エゴン・シーレ《カール・グリュンヴァルトの肖像》	20
3月12日	荒川	小林孝亘《Pillow》	16
3月26日	城所	小林孝亘《On the Beach - table》	24
合計			368

「ホー・ツーニエン 百鬼夜行」スライドトーク

内容：作品ガイドボランティアがスライドを用いて展示会の見どころを紹介した。

会場：講堂

日時：①11月27日[土]、②11月28日[日]、③12月5日[日]、④12月18日[土]、⑤12月19日[日]、⑥12月25日[土]、⑦12月26日[日]、⑧1月8日[土]、⑨1月9日[日]、⑩1月15日[土]、⑪1月16日[日]。各回13時～

参加人数：①6人、②11人、③15人、④14人、⑤20人、⑥11人、⑦20人、⑧30人、⑨25人、⑩24人、⑪20人

ランドスケープツアー

内容：作品ガイドボランティアとともに庭園をめぐる、建築や庭園、屋外彫刻について理解を深めるプログラム。

日時：①11月14日[日]午前11時～、②同日午後2時～、③11月21日[日]午前11時～、④同日午後2時～、⑤3月27日午後1時～

参加人数：①11人、②8人、③6人、④11人、⑤18人



自主研修会

「講演会「絵を見る幸せ」

講師：秋庭史典（美学、名古屋大学大学院情報学研究所教授）

日時：3月17日[木]午後1時30分～3時30分

対象：作品ガイドボランティア

参加人数：26人

7 出版・ビデオ・音声ガイド制作

出版、印刷物

『紀要 No.13』

『年報（令和3年度版）』

「配布用ギャラリーガイド／音声ガイド」

「豊田市美術館の子どものためのプログラム」

企画展、テーマ展、常設展に関する出版／印刷物は、各展覧会の掲載ページを参照のこと。

ビデオ制作

企画展「ボイス+パレルモ」記録ビデオ 15分

企画展「モンドリアン展 純粋な絵画をもとめて」記録ビデオ 15分

企画展「ホー・ツーニェン 百鬼夜行」記録ビデオ 15分
常設特別展「サンセット／サンライズ」記録ビデオ 15分

オンライン鑑賞ガイド

「モンドリアン展 純粋な絵画をもとめて」「寺内曜子 バンゲア／コレクション展：ひとつの複数の世界」の鑑賞支援媒体として美術館のウェブサイトオンライン(PDF)で利用できる以下の鑑賞ガイドを掲載。

「ジュニアガイド2021夏」

8 小・中学校美術館学習

■中学生／美術館見学学習 なし

■その他／授業・部活動等での見学

来館日	学校名	人数
7月29日	瀬戸市立水野中学校	6
7月30日	みよし市立北中学校	22
11月16日	豊田市立小渡小学校 3・4年生	13
11月17日	豊田市立益富中学校	16
1月5日	豊田市立猿投台中学校 美術部	36
1月13日	豊田市立朝日丘中学校 特別支援学級	16
3月22日	豊田市立猿投台中学校 特別支援学級	5
合計		114

9 研修会

来館日	学校名	人数
8月5日	豊田市教育研究会図工・美術部会	41

10 博物館実習

実習生：10名（8大学）

実習期間：8月24日[火]－28日[土] 計5日間

カリキュラム

	実習内容
1日目	オリエンテーション 美術館の役割 館内の施設・設備／管理運営について 作品資料調査作業のための事前説明・資料配布
2日目	作品収集の意義 調査・研究活動について 美術館建築について／美術館広報について
3日目	教育普及活動について 展覧会の企画から実施まで
4日目	作品資料調査、調書作成
5日目	作品の管理・保存 作品資料調査作業の報告 実習のまとめ～感想及び意見交換

11 撮影協力

■BSフジ「八木亜希子のおしゃべりミュージアム」
12月18日放送

■日本テレビ系列「ダメせない男」（ドラマ）
2022年3月26日放映

■その他
CM撮影等 38件

12 その他

■谷口吉生設計の美術館による「建築交流ネットワーク」に基づく展覧会協力

展覧会名：「静けさの創造 谷口吉生の美術館建築をめぐる」

会期：11月16日[火]－2022年5月29日[日]

会場：谷口吉郎・吉生記念金沢建築館

内容：建築紹介映像の撮影に対する協力および展示用資料（展覧会図録、ポストカード等）の提供

1. 展覧会等に関すること

■ 石田大祐

- ・(カタログ)「モンドリアンと神智学」「モンドリアンと音楽」『モンドリアン展 純粋な絵画をもとめて』日本経済新聞社、2021年
- ・「ウィークリー美術館 生誕150年記念 モンドリアン展 純粋な絵画をもとめて」『中日こどもWEEKLY』2021年6月19日
- ・「モンドリアン展 純粋な絵画をもとめて 上」『中日新聞朝刊』2021年7月14日
- ・「モンドリアン展 純粋な絵画をもとめて 下」『中日新聞朝刊』2021年7月16日

■ 鈴木俊晴

- ・(カタログ)「声と息:ヨーゼフ・ボイスとプリンキー・パレルモについてのいくつかの断章」(福元崇志と共同執筆)、「汀のパレルモ」、(翻訳)「プリンキー・パレルモについて:ラースロー・グロザーとヨーゼフ・ボイスの対話」、(翻訳)「響きとしての絵画:パレルモとその空間に関する作品」(クリストフ・シュライアー)『ボイス+パレルモ』マイブックスサービス、2021年
- ・(カタログ)「モンドリアンと風景」「モンドリアンとデザイン」『モンドリアン展 純粋な絵画をもとめて』日本経済新聞社、2021年
- ・「ボイス+パレルモ 上」『中日新聞朝刊』2021年6月3日
- ・「ボイス+パレルモ 下」『中日新聞朝刊』2021年6月4日
- ・(シンポジウム)福元崇志、岡添瑠子、松井勝正、松浦寿夫、林道郎、鈴木俊晴「ボイスとパレルモ ― 二焦点の座談」ART TRACE PRESS、2021年8月22日
- ・(座談会)清水穰、樹田倫広、鈴木俊晴「晩年を迎えたリヒターの『絵画』とは？」『美術の窓』No.459、2021年12月号
- ・(講義)「パレルモについて」京都芸術大学、2021年12月3日
- ・(座談会)大浦周、福本崇志、鈴木俊晴「ボイスとパレルモ」国立国際美術館、2022年1月16日
- ・「継承・叛乱:肉体と身体のあいだ―土方巽と田中泯を隔てる一七年間」『ユリイカ 特集=田中泯』2022年2月号
- ・「読まずにはいられない」― ヨーゼフ・ボイス《ジョッキー帽》の新聞紙片をめぐる(編集)『ボイス|リーダー』2022年3月
- ・「パレルモを塗る」(編集)『パレルモ|リーダー』2022年3月

■ 千葉真智子

- ・「寺内曜子 世界の見方を探る」『寺内曜子 パンゲア』豊田市美術館、2021年7月

■ 成瀬美幸

- ・「上社会の成り立ちと継続性についての一考察」『豊田市美術館紀要』No.14、2022年3月

■ 能勢陽子

- ・(カタログ)「変容するもの: 妖怪、スパイ、虎」torch press、2021年
- ・「京都学派の思想とその多重性とは。『ホー・ツーニエン:ヴォイス・オブ・ヴォイド―虚無の声』評」ウェブ版美術手帖、美術手帖、2021年6月21日
- ・「他者に開かれた浸透性―『ボイス+パレルモ』におけるパレルモ」artscape、大日本印刷株式会社、2021年7月1日
- ・「妖怪と戦争―『ホー・ツーニエン 百鬼夜行』展開催に寄せて」ゲンロンα、ゲンロン、2021年10月22日

- ・(トーク)「東浩紀×ホー・ツーニエン 司会=能勢陽子 アジアにおいて芸術と哲学とはなにか 『ホー・ツーニエン 百鬼夜行』展オープン記念トーク」ゲンロンカフェ+シラス、ゲンロン、2021年10月25日
- ・「妖怪の行列に軍人やスパイ: ホー・ツーニエン 百鬼夜行・上」『中日新聞朝刊』、2021年11月18日
- ・「日本の近代の歴史映し出す: ホー・ツーニエン 百鬼夜行・下」『中日新聞朝刊』、2021年11月19日
- ・(講義)「ホー・ツーニエン展のキュレーション」名古屋芸術大学、2021年11月19日
- ・「虎 変容するものたち―『ホー・ツーニエン 百鬼夜行』」artscape、大日本印刷株式会社、2021年12月1日
- ・(トーク)「日本の複雑な近代史をアートで照射する」豊田市美術館と豊田市の喜楽亭でホー・ツーニエンの特別展示が開催。この冬絶対に見逃せない大傑作アートの詳細|ゲスト: 辻田真佐憲、能勢陽子 津田大介のポリタスTV、YouTube+ポリタスTV、2021年12月16日
- ・(インタビュー)「『フィクションは私たちをより良い世界に導く生産的なものにもなりうるのです』ホー・ツーニエンインタビュー」ウェブ版美術手帖・美術手帖 2022年4月号、美術手帖、2022年1月19日

2. 所蔵作品・所蔵作家等に関すること

■ 鈴木俊晴

- ・(トーク) 今井俊介、佐藤克久、五月女哲平、鈴木俊晴「泉茂と現代の平面・絵画表現の接点を考察する」The Three Konohana, Yoshimi Arts、2021年10月25日
- ・(レビュー)「ミニマル/コンセプチュアルが現代美術になるとき(ミニマル/コンセプチュアル ドロテ&コンラート・フィッシャーと1960-70年代美術)」『愛知芸術文化センター情報誌AAC』vol.111、2022年3月

■ 千葉真智子

- ・(レビュー)「スナック死●ゲル」『REAR』47号 2021年10月
- ・(トーク) O JUN、長谷川繁、千葉真智子「“ペインテッド”長谷川繁とO JUN」カサヤの森現代美術館、2022年3月7日

■ 能勢陽子

- ・(レビュー)「生誕100年 松澤宥」長野県立美術館、「松澤宥 生誕100年祭」諏訪各所、Culture Review Site: Real Tokyo、Real Japan、2022年3月15日

3. その他

■ 高橋秀治

- ・「藤雅三ー『フランス風景』と『結婚証明書』」『豊田市美術館紀要』No.14、2022年3月

利用実績

展覧会総観覧者数：182,564人
 附属施設利用者数：75,439人
 施設総利用者数：258,003人

1 | 観覧者数

(人)

年	月	日数	企画展		常設展		高橋節郎館		合計	
			観覧者数	1日平均	観覧者数	1日平均	観覧者数	1日平均	観覧者数	1日平均
3	4	24	4,003	167	4,892	204	1,924	80	10,819	451
	5	27	4,758	176	5,986	222	2,751	102	13,495	500
	6	18	3,778	210	4,478	249	1,731	96	9,987	555
	7	19	9,530	502	9,055	477	2,987	157	21,572	1,135
	8	27	14,350	531	15,030	557	4,964	184	34,344	1,272
	9	18	12,000	667	11,138	619	3,616	201	26,754	1,486
	10	8	2,045	256	2,285	286	838	105	5,168	646
	11	25	5,435	217	6,479	259	2,898	116	14,812	592
	12	23	4,606	200	5,031	219	2,093	91	11,730	510
4	1	18	5,966	331	5,507	306	1,684	94	13,157	731
	2	12	2,858	238	2,113	176	1,276	106	6,247	521
	3	28	6,675	238	4,737	169	3,067	110	14,479	517
合計		247	76,004	308	76,731	311	29,829	121	182,564	739

2 | ギャラリー利用状況

※美術館利用分除く

(人)

開催期間	開催日数	展覧会名	入場者数	1日平均	市内・市外
2021年4月13日[火]～4月18日[日]	6	0歳から100歳までの夢	538	90	市外
4月20日[火]～4月25日[日]	6	キルトハーツパッチワークキルト展	762	127	市内
5月18日[火]～5月23日[日]	5	第21回GAM展	731	146	市内
6月1日[火]～6月13日[日]	9	豊田芸術選奨受賞記念山本富章展	1,093	121	市内
7月27日[火]～8月1日[日]	6	不協和音	1,223	204	市内
8月10日[火]～8月15日[日]	6	新宅雄樹展	1,438	240	市内
8月31日[火]～9月5日[日]	6	K-TEN.27	1,419	237	市内
10月26日[火]～10月31日[日]	6	森とつながる。アートでつながる	503	84	市外
11月2日[火]～11月7日[日]	6	郷土創造の仲間たち展	815	136	市内
11月16日[火]～11月28日[日]	10	出張N「わからなかった昨日の翌日」	1,254	125	市外
11月30日[火]～12月12日[日]	9	第24回障がい者作品展	1,585	176	市内
12月14日[火]～12月19日[日]	6	点	212	35	市内
3月1日[火]～3月13日[日]	12	生き物の色とかたち展	2,338	195	市内
合計	93		13,911	150	

※開催期間は、利用許可上の日数、開催日数は実際の開館日数で記載

3 | ライブラリー利用状況

(人)

年	月	利用人数
3	4	274
	5	348
	6	292
	7	1,027
	8	1,464
	9	833
	10	152
	11	275
	12	241
4	1	264
	2	243
	3	450
合計		5,863
1 日平均		24

4 | レストラン等付属施設利用状況

(人)

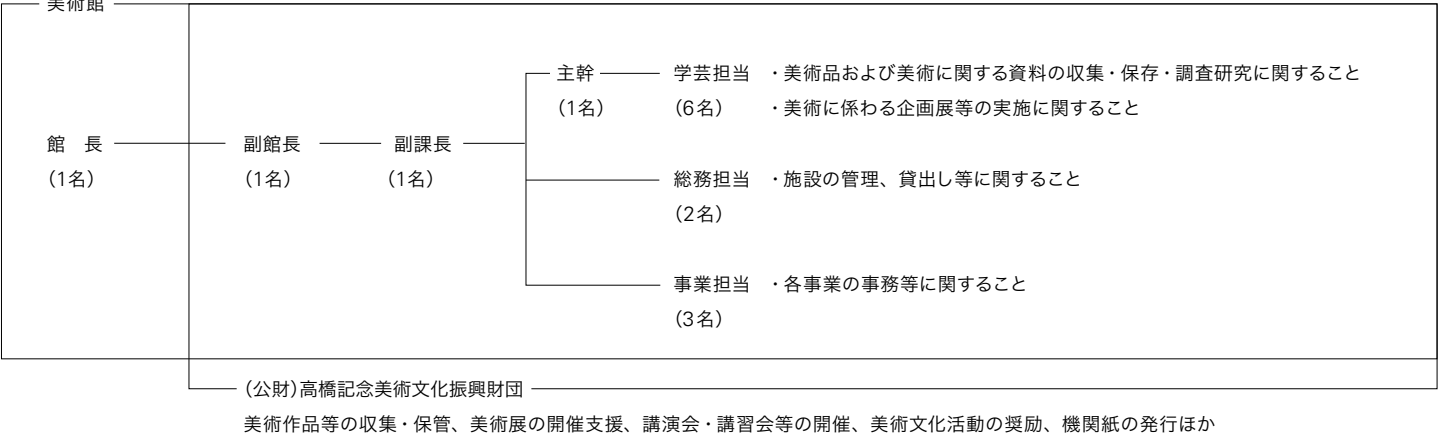
年	月	日数	レストラン	ミュージアムショップ	茶室童子苑	その他施設	合計
3	4	24	1,290	972	636	105	3,003
	5	27	1,342	944	706	30	3,022
	6	18	960	966	339	83	2,348
	7	19	1,951	3,437	771	519	6,678
	8	27	2,863	4,633	907	672	9,075
	9	18	2,053	4,175	727	496	7,451
	10	8	575	339	299	291	1,504
	11	25	1,534	936	1,437	2,420	6,327
	12	23	1,310	1,046	876	1,601	4,833
4	1	18	1,233	1,537	510	162	3,442
	2	12	481	474	275	287	1,517
	3	28	1,374	1,139	753	3,199	6,465
合計		247	16,966	20,598	8,236	9,865	55,665

※その他施設：ワークショップルーム、講堂、又日亭、七州城、庭園

※茶室童子苑は、立礼席利用者と茶室利用者の合計

組織

1 | 組織図 ※令和3年4月1日現在



※美術館の分掌事務

- ・美術館の運営管理に関すること
- ・美術品及び美術に関する資料の収集に関すること
- ・美術品及び美術に関する資料の保管及び取扱いに関すること
- ・美術品及び美術に関する資料の展示に関すること
- ・美術に関する展覧会等の事業の実施に関すること
- ・美術に係る調査研究に関すること
- ・美術の啓発に関すること

※ (公財)高橋記念美術文化振興財団は、事務局を豊田市美術館内に置き、美術館職員がその事務事業を兼務する。

2 | 美術館運営協議会

より多くの感動を与え、親しまれる美術館運営を目指して、運営協議会を設置し、展覧会の開催、美術文化の普及啓発、来館者サービスの現状と課題について協議しました。

- ①委員 10名
- ②開催日 令和3年7月27日（火）
令和4年3月8日（火）

3 | 美術品収集委員会

秋山美帆作「ゆれるかげ-3 1992.12.25」はじめ9件の寄贈受け入れについての審査及び評価がされ、すべての案件が可決されました。

- ①委員 6名
- ②開催日 令和4年2月23日（水）

4 | 作品ガイドボランティア

毎日（木曜日を除く）午後2時から（土・日・祝日は午前11時からもあり）、来館者とお話しながら作品の魅力を紹介し、鑑賞のガイドをするギャラリー・トークの他、美術館学習での小・中学生やガイドを希望する団体等への対応を行っています。

※ギャラリー・トークは、令和2年度と同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

- ①発足 平成9年7月
- ②登録人数 27人 ※令和4年3月現在
- ③活動内容 ・常設展、企画展でのギャラリーツアー
・美術館学習のための事前出張授業
・団体来館者への作品解説 など

関係法規

Ⅰ 豊田市美術館条例

平成7年3月31日

条例第1号

趣旨

第1条 この条例は、博物館法（昭和26年法律第285号。以下「法」という。）第18条の規定に基づき、豊田市美術館の設置及び管理に関し、必要な事項を定めるものとする。

設置

第2条 美術に関する市民の知識及び教養の向上を図り、市民文化の発展に寄与するため、豊田市美術館（以下「美術館」という。）を豊田市小坂本町8丁目5番地1に設置する。

事業

第3条 美術館においては、次に掲げる事業を行う。

- (1) 美術品及び美術に関する資料（以下「美術品等」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。
- (2) 美術に関する専門的な調査研究を行うこと。
- (3) 美術に関する解説書、図録、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- (4) 美術に関する講演会、講習会等を開催すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、美術館の設置目的を達成するため、市長が必要と認めた事業

観覧料

第4条 美術館が主催して展示する美術品等を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納付しなければならない。ただし、中学生以下の者は、無料とする。

利用の許可

第5条 別表第2に掲げる施設（以下「施設」という。）を利用しようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

2 学術研究等のため、美術品等の撮影、模写、模造、熟覧等（以下「美術品等の利用」という。）をしようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

3 市長は、美術館の管理上必要があると認めたときは、前2項の許可に条件を付することができる。

利用の不許可

第6条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、施設の利用及び美術品等の利用を許可しない。

- (1) 利用目的に違反すると認めたとき。
- (2) 商業宣伝、営業等の行為が主たる目的であると認めたとき。
- (3) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認めたとき。
- (4) その他管理上支障があると認めたとき。

許可の取消し等

第7条 市長は、第5条第1項又は第2項の規定により許可を受けた者（以下「利用者」という。）が次の各号のいずれかに該当するとき、又は公益上特に必要があると認めたときは、許可を取り消し、利用の中止若しくは停止を命じ、又は許可に付された条件を変更することができる。

- (1) この条例又はこれに基づく規則の規定に違反したとき。
- (2) 許可に付された条件に違反したとき。

(3) 偽りその他不正な手段により許可を受けたとき。

2 前項の規定による許可の取消し等によって利用者に損害が生じた場合においても、市は、その責めを負わないものとする。

使用料

第8条 利用者（第5条第1項の規定により許可を受けた者に限る。）は、許可を受けたときにおいて、別表第2に定める使用料を納付しなければならない。

観覧料等の減免

第9条 市長は、特別の事由があると認めたときは、観覧料及び使用料を減免することができる。

観覧料等の不還付

第10条 既納の観覧料及び使用料は、還付しない。ただし、市長において特別の事由があると認めたときは、その全部又は一部を還付することができる。

権利の譲渡等の禁止

第11条 利用者は、その利用の権利を他に譲渡し、又は転貸してはならない。

設備の承認及び原状回復

第12条 利用者は、その利用に際して特別の設備をしようとするときは、あらかじめ市長の承認を受けなければならない。

2 利用者は、前項の規定により特別の設備をしたときは、利用後速やかに原状に回復しなければならない。

3 利用者が前項の義務を履行しないときは、市がこれを代行し、その費用を利用者から徴収することができる。

入館の制限

第13条 市長は、美術館内の秩序を乱し、又は乱すおそれがあると認めた者に対して、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。

損害賠償

第14条 美術館の入館者及び利用者は、故意又は過失により建物、附属設備又は物品を破損し、又は滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、市長が損害を賠償させることが適当でないと認めたときは、この限りでない。

美術館運営協議会

第15条 法第20条第1項の規定に基づき、美術館に豊田市美術館運営協議会（以下「運営協議会」という。）を置く。

2 運営協議会は、委員10人以内をもって組織する。

3 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱し、又は任命する。

- (1) 学校教育の関係者
- (2) 社会教育の関係者
- (3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (4) 学識経験を有する者
- (5) 地域との連携に資する活動を行う者
- (6) 公募による市民（市内に居住し、通勤し、又は通学する個人をいう。）

4 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

5 前項本文の規定にかかわらず、委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

委任

第16条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

附則

施行期日

1 この条例は、平成7年11月11日（以下「施行日」という。）から施行する。

別表第1（第4条関係）

豊田市美術館観覧料

区分		観覧料(円)(1人1回につき)		年間観覧料 (1人につき)	
		個人	20人以上の団体		
常設展示	一般	300	250	5,000円以内で市長 が定める額	
	大学生又は高校生	200	150		
常設特別展示		2,000円以内でその都度 市長が定める額			
企画展示					

備考

1 「大学生又は高校生」とは、大学、短期大学、高等学校、高等専門学校若しくは専修学校に在学する学生若しくは生徒又はこれらに準ずる者をいう。

2 「年間観覧料」とは、当該観覧料を納付した日の翌日から起算して1年を経過する日の属する月の末日までの間、同一人が回数について制限を受けることなく観覧することができる観覧料をいう。

3 前項に規定する期間に美術館を臨時に1月以上連続して休館する期間がかかる場合は、同項中「1年」とあるのは、「美術館を臨時に1月以上連続して休館する期間の月数（当該期間に1月未満の端数がある場合は、これを1月に切り上げるものとする。）を1年に加算した期間」とする。

別表第2（第5条、第8条関係）

豊田市美術館使用料

1 ギャラリー使用料

区分	利用目的	単位	使用料（円）
ギャラリー	美術に関する展覧会等の開催	1日	12,000

2 茶室使用料

区分	利用目的	使用料（円）		
		午前 （9:00～13:00）	午後 （13:00～17:00）	夜間 （17:00～21:00）
一步亭	茶会の開催	3,500	3,500	3,500
豊祥庵		1,500	1,500	1,500

■ 豊田市美術館管理規則

令和2年3月31日

規則第3号

趣旨

第1条 この規則は、豊田市美術館条例（平成7年条例第1号。以下「条例」という。）

第16条の規定に基づき、豊田市美術館（以下「美術館」という。）の管理に関し、必要な事項を定めるものとする。

開館時間及び休館日

第2条 美術館の開館時間及び休館日は、次の表のとおりとする。

区分	開館時間	休館日
美術館 （茶室を除く。）	午前10時から 午後5時30分 まで	(1)月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たる日を除く。） (2)12月28日から翌年1月4日まで (3)美術品等（条例第3条第1号に規定する美術品等をいう。以下同じ。）の展示替えの作業を行う日として市長があらかじめ定める日
茶室	午前9時から 午後9時まで	(1)月曜日（休日に当たる日を除く。） (2)12月28日から翌年1月4日まで

2 前項の規定にかかわらず、美術館が主催して展示する美術品等の展示会場（以下「展示会場」という。）へ入場できる時間（次項において「入場時間」という。）は、午前10時から午後5時までとする。

3 前2項の規定にかかわらず、市長は、特に必要があると認めたときは、臨時に開館時間、休館日及び入場時間を変更することができる。

観覧券の交付

第3条 市長は、条例第4条の規定により観覧料を納付した者に対し、観覧券を交付するものとする。

観覧券の提示

第4条 前条の規定により観覧券の交付を受けた者は、展示会場へ入場する際に当該観覧券を入口の係員に提示しなければならない。

利用の手続

第5条 条例第5条第1項の規定により施設の利用の許可を受けようとする者は、豊田市美術館利用許可申請書（様式第1号）を市長に提出しなければならない。

2 条例第5条第2項の規定により美術品等の利用の許可を受けようとする者は、次に掲げる事項を記載した申請書を市長に提出しなければならない。

- (1) 美術品等を利用する者の氏名及び住所
- (2) 利用する美術品等の名称その他の美術品等の特定に必要な情報
- (3) 美術品等の利用目的
- (4) 美術品等の利用日時
- (5) その他市長が必要と認める事項

3 前項の場合において、利用しようとする美術品等が寄託されたものであるときは当該寄託者の同意を得たことを証する書面を、他に著作権者があるものであるときは当該著作権者の同意を得たことを証する書面をそれぞれ添付しなければならない。ただし、市長がその必要がないと認めたときは、この限りでない。

4 第1項及び第2項の許可を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、これらの項に規定する申請書その他必要な書面を別表第1に定める区分に従い同表に掲げる期間内に提出しなければならない。ただし、市長が特に必要と認めたときは、この限りでない。

利用許可書の交付

第6条 市長は、利用を許可したときは、豊田市美術館利用許可書（様式第2号。以下「許可書」という。）を申請者に交付する。

利用期間

第7条 施設を引き続き利用することのできる期間（以下「利用期間」という。）は、12日間とする。ただし、美術館が主催し、又は他の団体と共催する行事のために施設を利用するときその他市長が特に必要と認めたときは、この限りでない。

2 利用期間には、休館日を含めないものとする。

利用の変更

第8条 利用の許可を受けた者（以下「利用者」という。）は、許可書に記載された事項を変更しようとするときは、豊田市美術館利用変更許可申請書（様式第3号）に許可書を添えて市長に提出し、その許可を受けなければならない。

2 市長は、前項の規定により利用の変更を許可したときは、豊田市美術館利用変更許可書（様式第4号。以下「変更許可書」という。）を利用者に交付する。

3 前項の規定により利用の変更を許可された場合において、既納の使用料の額が変更後の使用料の額に対して不足額を生じるときは、利用者は、直ちに当該不足額を納入しなければならない。

利用の許可の取消し

第9条 利用者は、許可の取消しを受けようとするときは、豊田市美術館利用許可取消申請書（様式第5号）に許可書又は変更許可書を添えて、市長に提出しなければならない。

2 市長は、前項の規定により許可を取り消したときは、豊田市美術館利用許可取消通知書（様式第6号）を利用者に交付する。

観覧料等の減免

第10条 条例第9条の規定により観覧料及び使用料を減免することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

(1) 小学校、中学校若しくは市内に所在する高等学校又はこれらに準ずる学校の教育課程に基づく教育活動の一環として児童又は生徒の引率者が美術館の展示を観覧しようとする場合 観覧料の全額

(2) 次に掲げる要件のいずれかに該当する者が当該要件に該当することを証明するものを係員に提示し確認を受けて美術館の展示を観覧しようとする場合 観覧料の全額
ア 市内に住所を有し、かつ、高等学校又はこれに準ずる学校に通学していること。
イ 市内に所在する高等学校又はこれに準ずる学校に通学していること。

(3) 次に掲げる手帳のいずれかの交付を受けている者及びその介添者が当該手帳を係員に提示し確認を受けて美術館の展示を観覧しようとする場合 観覧料の全額
ア 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条に規定する身体障害者手帳
イ 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条に規定する精神障害者保健福祉手帳

ウ 戦傷病者特別援護法（昭和38年法律第168号）第4条に規定する戦傷病者手帳
エ 厚生労働大臣の定めるところにより交付された療育手帳

(4) 市内に住所を有する者で次に掲げる証書のいずれかの交付を受けているものが当該証書を係員に提示し確認を受けて美術館の展示を観覧しようとする場合 観覧料の全額

ア 高齢者の医療の確保に関する法律施行規則（平成19年厚生労働省令第129号）第17条第1項に規定する被保険者証
イ 市が実施する母子・父子家庭医療費の助成事業において当該母子・父子家庭医療費の受給者に交付する受給者証

(5) 美術館の常設特別展示又は企画展示を観覧しようとする者が併せて美術館の常設展示を観覧しようとする場合 常設展示の観覧料の全額

(6) 市又は市の機関が主催し、又は他の団体と共催する行事のために施設を利用する場合 使用料の全額

(7) その他市長が特別の事由があると認めた場合 その都度市長が定める額

2 前項第1号又は第7号の規定により観覧料の減免を受けようとする者はあらかじめ豊田市美術館観覧料減免申請書（様式第7号）を、同項第6号又は第7号の規定により使用料の減免を受けようとする者は第5条第1項に規定する申請書の提出に併せて豊田市美術館使用料減免申請書（様式第8号）を市長に提出しなければならない。ただし、市長が特に必要がないと認めたときは、この限りでない。

3 市長は、観覧料の減免を承認したときは豊田市美術館観覧料減免承認書（様式第9号）を、使用料の減免を承認したときは豊田市美術館使用料減免承認書（様式第10号）を交付する。

優待券等

第11条 市長は、特に必要があると認めたときは、優待券又は招待券を発行することができる。

観覧料等の還付

第12条 条例第10条ただし書の規定による観覧料及び使用料の還付は、別表第2に定める基準によるものとする。

利用責任者

第13条 利用者は、施設及び美術品等の利用に係る規律を保持するため、あらかじめ利用責任者を定めておかなければならない。

事前打合せ

第14条 利用者は、事前に係員と利用方法その他必要な事項について打合せを行わなければならない。ただし、市長が特に必要がないと認めたときは、この限りでない。

利用後の届出等

第15条 利用者は、施設又は美術品等の利用が終わったときは、直ちにその旨を届け出て、係員の点検を受けなければならない。

利用者の遵守事項

第16条 利用者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

(1) 利用の許可を受けていない施設及びその附属設備並びに美術品等の利用をしないこと。

(2) 次条各号に規定する行為をしないこと。

(3) 施設の利用に当たっては、入場者の安全確保の措置を講じ、及び入場者に次条各号に規定する行為をさせないこと。

(4) 美術品等の利用に当たっては、美術品等の保存に悪影響を及ぼし、及び観覧者の観覧に支障を来す行為をしないこと。

(5) 係員の指示に従うこと。

入館者の禁止事項

第17条 入館者は、次に掲げる行為をしてはならない。

(1) 施設及びその附属設備並びに美術品等を汚損し、又は損傷するおそれのある行為をすること。

(2) ライブラリーの図書、文献等の資料を所定の場所以外で閲覧すること。

(3) 所定の場所以外で飲食又は喫煙をすること。

(4) 騒音又は大声を発する等他人に迷惑を及ぼす行為をすること。

(5) 他人に危害又は迷惑を及ぼすおそれのある物品又は動物を持ち込むこと。

(6) 許可を受けないで美術館内及び敷地内において物品を販売し、又は金品の募集等の行為をすること。

(7) その他美術館の運営に支障を来す行為をすること。

美術館運営協議会の会長

第18条 豊田市美術館運営協議会（以下「運営協議会」という。）に会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、運営協議会を代表し、会務を総理する。

運営協議会の会議

第19条 運営協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、議長となる。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

会議の特例

第20条 会長は、緊急を要する場合その他やむを得ない理由のある場合は、委員に書面を送付し又は電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他の人の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録であって、電子計算機による情報処理の用に供されるものをいう。以下同じ。）を送信し、その意見を徴し又は賛否を問い、その結果をもって会議の議決に代えることができる。

2 前条の規定は、前項の規定による書面又は電磁的記録による審議について準用する。この場合において、同条第2項中「会議」とあるのは「会議における審議」と、「過半数が出席しなければ開くことができない」とあるのは「半数以上から書面又は電磁的記録による回答がなければ成立しない」と、同条第3項中「出席委員」とあるのは「書面又は電磁的記録により回答のあった委員」と読み替えるものとする。

委任

第21条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

別表第1（第5条関係）

利用申請期間

利用区分		期間
施設の利用	ギャラリー	利用日の属する月が1月から3月までの場合 前年の1月5日から同月31日までの間
		利用日の属する月が4月から6月までの場合 前年の4月1日から同月30日までの間
		利用日の属する月が7月から9月までの場合 前年の7月1日から同月31日までの間
		利用日の属する月が10月から12月までの場合 前年の10月1日から同月31日までの間
	茶室	利用日の属する月の前12月から利用日の前7日までの間
美術品等の利用		利用日の属する月の前6月から利用日までの間

備考 引き続き2日以上利用しようとする場合の「利用日」とは、その最初の日をいう。

別表第2（第12条関係）

観覧料の還付の基準

区分	還付率
災害その他の観覧料(年間観覧料を除く。)を納付した者の責めに帰すことができない事由によって観覧ができなくなった場合	100%
その他市長が特別の事由があると認めた場合	その都度市長が定める還付率

使用料の還付の基準

区分	還付率
災害その他利用者の責めに帰すことができない事由による取消し	100%
利用日前 30 日までに取消申請がなされた場合	90%
利用日前 20 日までに取消申請がなされた場合	60%
利用日前 10 日までに取消申請がなされた場合	30%
その他市長が特別の事由があると認めた場合	その都度市長が定める還付率

沿革

昭和54 (1979)年	7月	市民意識調査で、市民の20%が美術館の建設を望む結果
59 (1984)年	3月	第4次豊田市総合計画 (1984－1990) の文化施設整備で、(仮称)豊田市美術館の建設を発表
平成	2 (1990)年	4月 (仮称)豊田市美術館構想委員会を設置
	3 (1991)年	3月 (仮称)豊田市美術館構想委員会が (仮称)豊田市美術館構想を答申
		4月 (仮称)豊田市美術館美術品収集委員会 (平成6年8月に同選定委員会に改称) を設置
		9月 (仮称)豊田市美術館・高橋節郎記念館基本計画を策定
	4 (1992)年	3月 (仮称)豊田市美術館建設基本設計を策定
	5 (1993)年	3月 (仮称)豊田市美術館建設実施設計を策定
		6月 建設工事着工
		10月 ヴァチカン美術館との友好交流提携に調印
	6 (1994)年	6月 デトロイト美術館との友好交流提携に調印
	7 (1995)年	3月 豊田市美術館条例公布
		6月 建設工事竣工
		11月 豊田市美術館開館
	8 (1996)年	7月 入館者10万人達成
		11月 豊田市都市景観賞 (主催: 豊田市)
		12月 サインデザイン準優秀賞 (主催: (社)日本サインデザイン協会)
	9 (1997)年	11月 入館者20万人達成
		11月 建築業協会賞 (主催: 建築業協会)
	10 (1998)年	2月 愛知まちなみ建築賞 (主催: 愛知県)
		4月 博物館登録
		12月 中部建築賞 (主催: 中部建築賞協議会)
	11 (1999)年	5月 入館者30万人達成
	12 (2000)年	11月 公共建築賞 (主催: (社)公共建築協会)
	13 (2001)年	1月 入館者40万人達成
		12月 サインデザイン準優秀賞 (主催: (社)日本サインデザイン協会)
		12月 印刷出版研究所奨励賞 (主催: 印刷出版研究所)
	14 (2002)年	3月 豊田市美術館モニターを設置
		4月 豊田市美術館運営協議会を設置
		10月 グッドデザイン賞 (主催: (財)日本産業デザイン振興会)
		12月 サインデザイン優秀賞 (主催: (社)日本サインデザイン協会)
	15 (2003)年	1月 入館者50万人達成
	16 (2004)年	6月 入館者60万人達成
		9月 豊田市美術館評価専門委員会を設置
	17 (2005)年	11月 開館10周年記念事業
		12月 入館者70万人達成
	19 (2007)年	7月 入館者80万人達成
	22 (2010)年	12月 入館者100万人達成
	26 (2014)年	9月 バリアフリー化等改修工事による休館 (- 27年10月)
	27 (2015)年	10月 リニューアルオープン
		開館20周年記念事業 (- 28年6月)
	29 (2017)年	1月 入館者200万人達成
	30 (2018)年	7月 LED化等改修工事による休館 (- 令和元年5月)
令和	1 (2019)年	6月 リニューアルオープン
	2 (2020)年	5月 優秀照明施設東海支部長賞 (主催: (社)照明学会東海支部)
	3 (2021)年	6月 日本照明施設東海支部長賞 (主催: (社)照明学会東海支部)

奥付

豊田市美術館 年報 No.26 (令和3年度)

発行：2022年7月

編集・発行：豊田市美術館

愛知県豊田市小坂本町8丁目5番地1

tel.0565-34-6610

印刷・製作：東名印刷株式会社